

# 川越市教育委員会第5回臨時会会議録

- 1 会議の場所 川越市教育委員会 教育委員会室
- 2 開 会 令和元年8月5日 午前9時
- 3 閉 会 令和元年8月5日 午後4時15分
- 4 教育長並びに出席した委員 新保正俊、梶川牧子、長谷川 均、黒田弘美
- 5 欠席委員 嶋野道弘
- 6 教育長の職務を行った者 教育長新保正俊
- 7 説明のため出席した者 教育総務部長中沢雅生、学校教育部長中野浩義、学校教育部副部長兼教育指導課長内野博紀、学校教育部参事兼学校管理課長梶田英司、学校教育部参事兼教育センター所長横山敦子、教育総務課長若林昭彦、中学校用教科用図書選定委員会委員（川越第一中学校校長小熊利明、富士見中学校校長矢嶋充夫、高階西中学校校長中村健二、寺尾中学校校長福田和子、霞ヶ関西中学校校長堤 貴幸）小学校用教科用図書選定委員会委員（川越第一小学校校長福島正美、武蔵野小学校校長井口修一、新宿小学校校長宮崎 厚、古谷小学校校長吉野和仁、名細小学校校長村上重仁）

## 8 前回会議録の承認

令和元年度第2回定例会会議録、第3回定例会会議録及び第4回定例会会議録については、現在、調整中であり、次回会議において承認することになった。

## 9 議題及び議事の概要

日程第1議案第18号 令和2年度使用中学校用教科用図書を採択することについて  
副部長兼教育指導課長

義務教育諸学校の教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を採択する場合を除き、4年ごとに採択することとなっている。

また、本市は、埼玉県教科用図書採択地区の変更により、平成26年度から、第9採択地区、単独採択となった。このため、本市の教科用図書採択については、川越市立小・中学校用教科用図書の採択に関する規則に基づき、15種目の中学校用教科用図書について教育委員会が審議し、採択しようとするものである。

今年度の採択までの概要について説明する。本年5月から本日まで、規則に定められた各機関が、見本本が送付された教科用図書について綿密な調査研究と慎重な協議・検討を行ってきた。

教科用図書選定委員会は、各教科の教科用図書について、公正中立な立場から真摯に調査研究を重ね、本日までの間に2回の会議を開催し、平成27年度に作成された「教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告書」とともに、学校か

らの意見、保護者の意見を踏まえ、「市町村の教育委員会等が教科書を採択するに当たっての採択基準」を基に協議・検討を行った。なお、教科用図書選定委員会から推薦教科書として報告されていない教科書についても、採択の対象であり、審議及び採択をお願いしたい。

教育長

審議の方法についてお諮りしたい。

中学校用教科用図書については、これまでに各選定委員により、教科書見本について十分に研究されているところである。また、専門員の報告書、校長からの報告についても、すべて事務局より事前に送付され、既に閲覧、研究されている。教科用図書選定委員会の報告書についても、事務局より届けられている。慎重に審議していくこととする。

審議の進め方については、15種目の教科書について、種目ごとに選定委員からの説明を求め、すべての教科書の説明後、一括で審議を行い、説明順を国語、書写、社会地理的分野、社会歴史的分野、社会公民的分野、地図、数学、理科、音楽一般、音楽器楽合奏、美術、保健体育、技術・家庭 技術分野、技術・家庭 家庭分野、英語としてよろしいかお諮りしたい。

(全員異議なく同意)

教育長

次に、採択の方法についてお諮りしたい。

採択の方法については、一括での審議終了後、無記名投票によることとし、教育長及び教育委員3名の投票の結果、獲得票数が最も多かった教科用図書を採択とすることとし、すべての種目について投票を行い、結果を公表することとしてよろしいかお諮りしたい。

その際、獲得票数が同数となった場合、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項の規定に基づき、「教育長の決するところ」により採択することとしてよろしいか併せてお諮りしたい。

(全員異議なく同意)

教育長

選定委員は国語の教科用図書について説明願いたい。

選定委員

教科書目録に掲載された教科書5者、東京書籍、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、教育出版と光村図書出版の2者とした。

はじめに、教育出版「伝え合う言葉 中学国語」について報告する。

「読む」「話す・聞く」「書く」「伝統文化と言語」を「身につけたい言葉の

力」として相互に関連付けながら第1学年、第2学年8つ、第3学年7つの単元で構成されている。各単元では「目標と振り返り」として生徒自身が学習の達成状況を把握しやすいように工夫されている。「読むこと」の指導では、学習の手引き「みちしるべ」によって学習課題を示し、問題解決の道筋に沿って学習を進める構成となっている。古典については、視覚資料やコラムにより、主体的な学習が進む工夫が施されている。

次に、光村図書出版「国語」については、全学年7つの単元と文法・漢字等の資料とで構成され、関連ページを本編中に示すことで、段階的な学習を進められるように工夫されている。3年間を通じて、言葉をテーマにした教材を位置付け、系統的に学習を進めることで言葉についての思考が深まるように工夫された構成となっている。「読むこと」の指導では、基礎的・基本的な技能の習得とともに、より課題に沿った読みが深まることに重点を置いた構成となっている。古典単元では、現代語訳、脚注なども豊富で、生徒の主体的な読みや学習が進むように工夫されている。

教育長

書写について説明願いたい。

選定委員

教科書目録に掲載された教科書5者、東京書籍、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、教育出版と光村図書出版の2者とした。

教育出版「中学書写」は、基本点画の復習など小学校との関連に配慮し、運筆は、薄墨と朱墨で示し、穂先が通る位置が具体的に示されている。国語の教科書教材を活用し、国語科の授業における書写の活動が明確に示されており、また、毛筆で学習する場面でも硬筆の練習を設定するなど、毛筆の運筆の学習が硬筆で書く能力の基礎となるように構成されている。1つの教材に対して複数の手本を用意し、日常生活における「書く場面」への対応が意識されている。

光村図書出版「中学書写」については、運筆が分かりやすく点線で示され、穂先の向きも生徒が理解しやすいように工夫されている。見開きで楷書と行書を並べ、それぞれの特徴を具体的に示し、字形に対する理解が深まるような工夫が施されている。手紙、原稿用紙、願書、送り状、のし袋の書き方など、日常生活で文字を使いこなす具体的な場面を示し、レポートやリーフレット作成などでは、他教科との関連を図っている。

教育長

社会 地理的分野について説明願いたい。

選定委員

教科書目録に掲載された教科書4者、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版について、調査研究を行い、それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と帝国書院の2者とした。

東京書籍「新編 新しい社会 地理」は、見開きの始めに学習課題を設け、本文と資料によって基礎的・基本的な知識を習得できる構成になっている。見開き終わりの「確認」では、短時間で言語活動に取り組むとともに、世界の各州や日本の各地方の学習の最後に、それまでの学習過程で思考、判断した内容を自分の言葉で説明することで、表現力が身に付くように工夫されている。また、見開きの「えんぴつマーク」で主体的な学習を促し、「深めよう」や「学習をふり返ろう」では、さらに深く単元の課題を追究し、地理的な事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。

帝国書院「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」については、見開きのはじめに「学習課題」を設け、写真、グラフ、地図等を使用して考え、最後の「確認しよう」「説明しよう」で知識を習得、活用させ言語表現するようになっている。各章や各節の終わりの「学習をふりかえろう」では、設定されたテーマを自分の言葉で説明することで言語活動を促進し、思考力・判断力・表現力を育成するように工夫されている。また、発展学習のコーナーの「トライアル地理」や「地域を探ろう」では、身に付いた地理の知識や技能を使って、さらに深くかつ主体的に課題に取り組むことができる工夫が施されている。

#### 教育長

社会 歴史的分野について説明願いたい。

#### 選定委員

教科書目録に掲載された教科書8者、東京書籍、教育出版、清水書院、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社、学び舎について、調査研究を行い、それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と帝国書院の2者とした。

東京書籍「新編 新しい社会 歴史」については、見開きを1単位時間として構成され、章毎に設置されている「この時代の歴史の学習を確認しよう」や「歴史スキルアップ」によって、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付くよう工夫されている。また、学習課題に対応し振り返りを行う「確認」欄や、章末毎に設けられている「この時代の特色をとらえよう」のページで、「ウェビング」「比較表」「ディスカッション」などにより、生徒が多様な言語活動を行い時代の特色を捉え、思考力・判断力・表現力を育成する工夫が施されている。

帝国書院「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」は、見開き2ページで構成されており、本文の内容や語句をより理解しやすくするために、図や写真を添えた「解説」が設けられている。学習しやすいだけでなく視覚的にも理解が深

まるよう工夫されている。見開きの終わりの「確認しよう」「説明しよう」や各部の終わりの「学習をふりかえろう」、解明されていない歴史事象について資料をもとに考察する「トライアル歴史」では、生徒が言語活動を行い、思考力・判断力・表現力を育成し学習を深めることができる。

教育長

社会 公民的分野について説明願いたい。

選定委員

教科書目録に掲載された教科書7者、東京書籍、教育出版、清水書院、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と日本文教出版の2者とした。

東京書籍「新編 新しい社会 公民」については、見開きの始めに学習課題を示し、最後の「確認」で、知識の習得や学習内容を深める課題が設定されている。「えんぴつマーク」を各箇所へ挿入し、言語活動などを通して学習を深められるようにし、章末や章の始めでは「X市の市長選挙に立候補しよう」等、シミュレーションを取り入れた学習を行う。さらに模擬裁判などを実施する「公民にチャレンジ」を設け、多面的・多角的な見方を養い、思考力・判断力・表現力を育成するための工夫が随所に施されている。また、「深めよう」が各章毎に設けられており、学習をさらに掘り下げ、発展させることができる。

日本文教出版「中学社会 公民的分野」は、見開きの始めに「学習課題」が明示され、最後の「学習の確認と活用」で学習した知識の定着や技能の活用を確認することができる。「言語活動コーナー」を随所に設け、知識を活用させて言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を高める工夫をしている。また、各章に設けられている「明日に向かって」のコーナーでは、生徒が将来に活かせる教材を取り上げ、多面的・多角的に思考し、持続的な社会を築くために、主体的に現代社会に参画する意欲を養うことができる。学習箇所の位置を確かめながら学習できるよう「インデックス」を付する工夫が施されている。

教育長

地図について説明願いたい。

選定委員

教科書目録に掲載された教科書2者、東京書籍、帝国書院について、調査研究を行った。それらの結果を選定委員会において協議・検討し、推薦すべき教科書を、東京書籍と帝国書院の2者とした。

東京書籍「新編 新しい社会 地図」については、州・地方ごとに「テーマ資料」のページを設け、各地域の特色を学習テーマに基づいて追究できるように構成されている。関連する資料が他のページにある場合、「ジャンプ」マークによりそ

のページを簡単に参照でき、同じテーマについて他の州や地方と比較して考察することで地理的な見方や考え方の基礎を培うことができる。基本図に「注目したい記号」を示し、地域の地理的特色を考察させ、各地域の特色や課題等を把握させ、地理的特色をとらえる視点や工夫が身に付くような構成となっている。

帝国書院「中学校社会科地図」は、世界各州の資料のページに「日本との結びつき」の資料を必ず取り上げ、世界の諸地域を日本との関係から捉えられる構成となっている。さらに「地図を見る目」のコーナーを随所に設け、地理的な見方や考え方の基礎が身に付くように工夫されている。地図から読み取る学習活動や言語活動を促す「やってみよう」のコーナーを随所に設け、生徒が自ら社会的諸課題について考えたり、話し合ったりすることができる。

教育長

数学について説明願いたい。

選定委員

教科書目録に掲載された教科書7者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館、数研出版、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と新興出版社啓林館の2者となった。

東京書籍「新編 新しい数学」は、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために、細かく段階を追っている部分と、理解を深める問題が分かりやすく配列され、主体的・意欲的に学習に取り組めるようになっている。数学トピックスとしての「数学のまど」、数学を活用させる「社会とつながる」などが示され、主体的な学習が展開されるように構成されている。さらに、「学び合い」のページでは、多様な考えを引き出すために右ページ始まりとし、自力解決の際に、例が見えないように工夫されている。

新興出版社啓林館「未来へひろがる数学Math Nav iブック」については、本文中に「ふりかえり」マークが示され、既習事項の確認ができ、章末の「基本のたしかめ」や巻末の「くり返し練習」では本文参照ページが示され、基礎的・基本的な内容を反復して学習し、定着を図るようになっている。論理的に考えるための「千思万考」、数学を深めるための「数学展望台」、さらに、日常生活との関連付けを図るための別冊「Math Nav iブック」が教科書に挟み込まれ、興味・関心を高め、主体的に学習を広げていく構成になっている。

教育長

理科について説明願いたい。

選定委員

教科書目録に掲載された教科書5者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定

委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と学校図書の2者となった。

東京書籍「新編 新しい科学」は、観察・実験については、目的を明確にし、方法、結果、考察などの探究の過程を分かりやすく示している。また、主体的な学習に取り組めるように配列され「予想しよう」「考えよう」で思考力・表現力を育成する構成である。関心を高める印象的な写真等を複数掲載し、身近な事物や現象から、自然の不思議さや科学の楽しさを伝える工夫がある。「ニッポンの科学」「科学でGO!」では、日本が世界に誇る最先端の科学技術や国際貢献活動、実生活との関連を紹介し、理科を学ぶ有用性が実感できる工夫がなされている。

学校図書「中学校科学」は、観察・実験については、課題、準備、結果、考察等の探究の過程を示している。また、「話し合ってみよう」を設けることで、科学的な思考力・表現力を身に付けられるような構成となっている。写真やイラストなどを複数掲載し、日常生活との関連、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫が施されている。「科学の窓」では、学習内容と関連した現象や発明、科学の歴史を説明している。また、「科学を仕事に活かす」では、科学と職業との関連を紹介し、学習意欲や興味・関心を高める工夫がなされている。

#### 教育長

音楽 一般について説明願いたい。

#### 選定委員

教科書目録に掲載された教科書2者、教育出版、教育芸術社について、調査研究を行い、それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した。その結果、推薦すべき教科書を、教育出版と教育芸術社の2者とした。

教育出版「中学音楽 音楽のおくりもの」は、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるために、「音楽の要素を捉えながら」「さまざまな音楽文化」「歌い合わせ聴き深める喜び」の3つの柱を設定し、系統的・発展的な学習ができるように教材が配列されている。具体的な学習の場面では、各学年に「指揮をしてみよう」を設け、表現の基礎的な技能の習得や創意工夫して表現するための解説が示され、発達の段階に応じて習得できるよう工夫されている。歌唱教材「歌のアルバム」では様々な難易度の合唱曲が掲載されており、我が国の伝統的な音楽については、伝統的な歌唱や伝統的な音楽の特徴を体験する教材を扱っている。

教育芸術社「中学生の音楽」は、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるため、豊かな表現・鑑賞活動のもととなる題材を系統的・発展的に配置するとともに「音楽学習MAP」で示している。具体的な学習の場面では、曲の構成やパートの役割について、〔共通事項〕と関連させながら思考・判断する場面を設け、表現を工夫する学習場面が示されている。また、「心の歌」等では、写真や縦書きの歌詞、作詞者や作曲者の言葉を掲載するとともに、「心通う合唱」として、発達の

段階に応じて合唱曲が掲載されている。我が国の伝統的な音楽については、民謡、長唄、能を系統的・発展的に取り上げ、各学年とも表現と鑑賞の一体化が図られた教材が選択されている。

教育長

音楽 器楽合奏について説明願いたい。

選定委員

教科書目録に掲載された教科書2者、教育出版、教育芸術社について、調査研究を行い、それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、教育出版と教育芸術社の2者とした。

教育出版「音楽のおくりもの」は、多様な音楽に興味・関心をもたせるための教材を示し、個々に応じた発展的な学習を進め、音楽を愛好する心情を育てられるように構成されている。具体的な学習の場面では、楽曲ごとに演奏におけるポイントやアドバイスが示され、段階的かつ主体的に学習に取り組むことができる。我が国の伝統的な音楽については、和楽器の歴史や仕組み、姿勢、構え方など基本的な奏法を写真で具体的に解説しており、重奏、合奏曲も取り上げ、無理なく和楽器の演奏に親しむ工夫が施されている。

教育芸術社「中学生の器楽」については、音楽を愛好する心情を育成し、基礎的な能力を定着させるために必要な資料を題材ごとに、具体的に示す構成となっている。また、「音楽学習MAP」によって系統的、発展的な学習の流れを示すとともに、〔共通事項〕をもとに学習内容を簡潔に示し、学習内容を明確にしている。具体的な学習の場面では、扱う楽器ごとに、楽曲の難易度が上がるように配列されている。我が国の伝統的な音楽については、和楽器の特徴、音色や奏法を具体的に解説し、「楽器を知ろう」「和楽器こぼれ話」により和楽器への理解や関心を深められるよう工夫している。

教育長

美術について説明願いたい。

選定委員

教科書目録に掲載された教科書3者、開隆堂出版、光村図書出版、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、開隆堂出版と日本文教出版の2者とした。

開隆堂出版「美術」は、美術1と美術2、3のA4判2分冊で、生徒に美術とのつながりを意識させる系統的な題材で構成されている。基礎的・基本的な技能の習得や道具の安全な扱い方などについて、巻末の「道具箱」で分かりやすくまとめるとともに、「色彩ホームページ」で、色彩の3原色や日本の伝統色を扱っている。題材ごとに鑑賞から、発想・構想・表現へとつながるように構成され、最後に「ふりかえり」の欄を設けることにより、題材のねらいに即した自己評価の活動ができ



るようになっている。鑑賞資料については、見開きの大型図版を使い、各々に問いかけというコーナーを用いて作品について話し合わせるなど、鑑賞の視点を通して言語活動の充実を図ることができるよう工夫されている。

日本文教出版「美術」については、美術1、美術2、3の上・下、3分冊で、A4のワイド版を採用し、生徒の発達の段階に応じた多様な学びが選択できる構成になっている。基礎的・基本的な技能の習得のために、題材ごとに参考作品やアイデアスケッチが掲載され、併せて作者の言葉を紹介することで、生徒が発想したり、構想したりする際の広がり支援するよう工夫されている。題材を系統的に配列し、「POINT」というコーナーを設けたり、美術館の取組を紹介したりするなど、道徳や他教科、キャリア教育との関連を意識した構成となっている。鑑賞図版が無理なく配置され、原寸大の作品を取り入れたり、版画作品などは実物の和紙を採用したりするなど、より本物の質感に近付けることで生徒の感性に働きかける工夫が施されている。

教育長

保健体育について説明願いたい。

選定委員

教科書目録に掲載された教科書4者、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいについて、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と大日本図書の2者とした。

東京書籍「新編 新しい保健体育」については、保健編、体育編が学年ごとに分けて構成され、各章の学習の流れが、「今日の学習」で課題把握をし、「やってみよう」で本文や資料を学び、「考えてみよう」で学んだ知識を活用し、「生かそう」でさらなる興味関心に応じて調べる活動を行わせる構成となっている。また「読み物」や「章末資料」に、現在活躍するアスリートの写真、イラスト等を複数掲載し、今日的課題や興味関心を高める工夫が施されている。章末に「確認の問題」を設け、知識の定着、自己評価ができる構成となっている。

大日本図書「新版 中学校保健体育」は、体育編、保健編に分けて構成され、各章の学習の流れは、「今日の学習課題」で課題把握をし、「考えよう」で身近なことから学習をし、「本文・資料」で知識を習得する。さらに「学習を生かして」で学習内容の整理、生活に生かす構成となっている。現在活躍するアスリートの写真、イラスト等を複数掲載し、重要事項を太文字で示すなど、興味関心を高める工夫が施されている。「トピックス」「ミニ知識」「学習のまとめ」などを配置し、学習内容の定着、確認ができるようになっている。

教育長

技術・家庭 技術分野について説明願いたい。

## 選定委員

教科書目録に掲載された教科書3者、東京書籍、教育図書、開隆堂出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と開隆堂出版の2者とした。

東京書籍「新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」については、基礎的・基本的な知識と技能を習得させるため、「目標」を明確化し、見通しをもって学習が進められる構成となっており、問題解決的な学習に取り組みやすい。また、生活と技術の関わりについての理解を深めるため、身近な生活と関連付けた課題を解決させるための手立てが示され、実践的・体験的な学習が豊富に取り入れられている。進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育て、学習の深化、創意工夫、生活を創造する力を育成する工夫が施されている。

開隆堂出版「技術・家庭（技術分野）」については、基礎的・基本的な知識や技能を習得させるため、「学習の目標」が明確化され、主体的に学習に取り組める構成となっている。また、生活と技術の関わりについて理解させるために、具体的な課題を示し、ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を重視し、基礎的・基本的な技術を習得させるための工夫が施されている。進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てるための先人の技術等、智恵や技術のすばらしさを紹介し、創造する力を育成する工夫が施されている。

## 教育長

技術・家庭 家庭分野について説明願いたい。

## 選定委員

教科書目録に掲載された教科書3者、東京書籍、教育図書、開隆堂出版について、調査研究を行い、それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と開隆堂出版の2者とした。

東京書籍「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」についてである。基礎的・基本的な知識と技能を習得させるために、「目標」を明確化し、学習の流れが分かりやすい。生活と技術の関わりについて理解させるために、豊富な資料を掲載し、様々な地域での伝統・文化などを取り上げ、複数の活動例を示し、興味・関心を高め、主体的な学習を促している。進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てるため、具体的な事例を挙げ、生徒の生活に合わせた工夫のヒントを示している。

開隆堂出版「技術・家庭（家庭分野）」については、基礎的・基本的な知識や技能を習得させるため、「学習の目標」が明確に示され、主体的に学習に取り組むことができる。生活と技術の関わりについて理解を深めるために、生徒が自立して生活を営む上で必要である課題を提示し、実践的・体験的な学習活動が豊富に設定されている。進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てるため、伝統

・文化、智恵や技術のすばらしさを紹介し、創造する力を育成できるよう工夫が施されている。

#### 教育長

英語について説明願いたい。

#### 選定委員

教科書目録に掲載された教科書6者、東京書籍、開隆堂出版、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書出版について調査研究を行い、それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と開隆堂出版の2者とした。

まず、東京書籍「NEW HORIZON English Course」は、各課（Unit）で語彙、文法の習得、「Daily Scene」で場面別コミュニケーション活動による活用を図り、「Presentation」で自己表現活動を行う3部構成により、4技能を総合的に育成する構成となっている。また、「Read and Think」で「読むこと」「書くこと」に重点を置いた活動をし、「Activity」では学習した技能を統合する活動を行う構成となっている。「まとめと練習」「学び方コーナー」で、自主的な学習を促す工夫がなされ、「Let's Read」や「名作鑑賞」では興味関心に応じて学習する読み物教材が掲載されている。小学校英語活動との連携については、「Hi' English!」や「Unit 0（ゼロ）」を設け、円滑な接続がなされるよう配慮している。

開隆堂出版「SUNSHINE ENGLISH COURSE」は、各課（PROGRAM）に4技能の活動を配置し、文型・文法事項を分かりやすい対話形式で示しており、活動の中で習得させるよう工夫されており、コミュニケーション能力の基礎を反復的、総合的に育成するバランスのよい構成となっている。「My Project」では、基礎的な技能を発展的、総合的に活用し、「POWER-UP」では日常的によく使われる表現を総合的に伸ばす工夫が施されている。巻末に「英語で『できるようになったこと』リスト」があり、身に付けたいコミュニケーション能力の目標が明確に示され、学習の理解度と定着度が確認できるように工夫されている。小学校英語活動との連携については、第1学年に小学校の英語活動を復習する課「Let's Start」、目次に小学校でふれた表現を青字で示す等、円滑な接続がなされるよう工夫している。

#### 委員

これから、ある意味AI社会に突入していくわけであるが、その中で特に重視されているのが創造力の育成である。例えば、国語で推薦された教科書2者において、創造力を身に付けるという意味での工夫などはあるのか伺いたい。

#### 選定委員

創造力は、思考力や判断力、表現力などを総合した力であると捉えると、教育出版は、「みちしるべ」の「確かめよう」「深めよう」や「学びのチャレンジ」を通して、思考を深める工夫を施している。光村図書出版は、「学習を振り返る」「生活に生かす」「他教科に生かす」において、学習の振り返りと、学習内容を生かす場を示す工夫をしている。

#### 委員

数学については、創造力を育成するためにどのような工夫がなされているか伺いたい。

#### 選定委員

東京書籍の「数学マイノート」は「学び合い」のページに対応したノートの記述例を示しているが、板書を書き写すだけでなく、思考の過程や深まりをノートに書く習慣を身に付け、数学的な思考力や判断力を伸ばすことができるようになっている。新興出版社啓林館については、章を通じて多様な考え方がみられる場面や、間違いやすい部分に「みんなで話し合ってみよう」や「自分のことばで伝えよう」

「自分の考えをまとめよう」が設定されており、自分のことばでまとめること、他者と伝え合うなどの言語活動を通し、筋道を立て説明する力や表現力を養うことができるような工夫が施されている。

#### 委員

数学において理解度を上げるためには、特に復習が重要であると考えているが、学習の振り返りや、繰り返しなど2者の工夫について伺いたい。

#### 選定委員

2者とも、習ったことを確実に身に付けるために、練習問題が適切に準備されている。生徒が既習事項について振り返り学習することができるページも用意され、教師が個に応じて家庭学習等を指示することができるよう工夫されている。

#### 委員

2者とも個々の段階に応じてアプローチできるような工夫があるということか確認したい。

#### 選定委員

そのとおりである。

#### 委員

英語についてはコミュニケーション能力の向上が重要であると考えているが、推薦されている教科書2者における工夫などがあれば伺いたい。

#### 選定委員

2者に共通して工夫されているのは教科書の構成である。大ききな紙面で「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を総合的に指導することができ、コミュニケーション能力の向上に役立つと考える。また、2者それぞれについてあげると、

開隆堂出版は左側上部に常に基本文を配置し、基本文は新言語材料を場面・状況のわかりやすい対話形式で示している。次に新言語材料を聞いて理解する「L i s t e n」、口頭で練習する「S p e a k」、新言語材料を総合的に使って自己表現する「T r y」を設けている。東京書籍は「学び方コーナー」を設け、英語学習のコツを紹介し、「まとめと練習」では文法の整理と復習ができるようにしており、「L i s t e n i n g A c t i v i t y」では学習した文法事項の確認のためのリスニング活動ができるように構成されている。いずれもコミュニケーション能力を育成するための工夫である。

委 員

国語と書写は関連する教科であるが、教員が指導するうえで、同じ出版社の教科書のほうが指導しやすいというようなことはあるのか伺いたい。

選定委員

教科書それぞれに優れた点があり、どの教科書を用いても、教員が指導できるよう工夫されていると認識している。

委 員

関連する教科の教科書について、必ずしも同じ出版社のものでなくてはならないというわけではないのか確認したい。

選定委員

そのとおりである。

委 員

社会の教科書で、川越市や埼玉県に関わる資料を取り上げているものはあるのか伺いたい。

選定委員

東京書籍の「新編 新しい社会 歴史」に川越の「長善館」の記述がある。川越市についての記述があるのはこの1者のみである。

委 員

埼玉県に関する記述のある教科書はあるのか確認したい。

選定委員

埼玉県に関しては、東京書籍、帝国書院に記述がある。

委 員

数学の2者について、基礎的、基本的な事項を定着させるための工夫について伺いたい。

選定委員

2者ともに、習ったことを確実に身に付けるため、章末、巻末に練習問題が適切に準備されている。加えて東京書籍は「学び合い」のページがあり、その次のページに解き方の説明がある構成になっている。新興出版社啓林館は別冊「M a t h

「Naviブック」があり、全員で取り組むものではないが、習熟度別の学習に対応できる内容となっている。

委員

国語について、読書活動の推進に向け、推薦された2者はどのような工夫をしているのか伺いたい。

選定委員

教育出版は、「本の世界へ」「読書案内」だけでなく、各教材ごとに「読んでみよう」のコーナーを掲載し、その本の内容や魅力を紹介している。光村図書出版は、「読書案内」で教材にないジャンルの本を紹介し、「読書コラム」や「広がる読書」で各教材に関連のある図書を紹介している。

委員

書写について、推薦された2者は、主体的に学習に取り組む態度を養う内容としてどのような工夫をしているのか伺いたい。

選定委員

教育出版では、「学習の進め方」として、目標、試し書き、考えよう、生かそう、振り返ろう、学習や日常生活に生かそう、という流れになっている。「振り返ろう」では、学習目標と連動した複数の自己評価項目に照らし合わせながら、丸や三角などの記号を直接記入させるようにしている。光村図書出版は、学習の流れとして、学習の見通しをもつ「目標」、学習・活動に取り組む「学習の窓」、次の学習に生かす「学習を振り返る」となっている。「学習を振り返る」では、学習目標と連動した自己評価項目に照らし合わせながら、丸や三角の記号を直接記入させ、主体的な取組を促す工夫をしている。

委員

地図の見やすさについて、2者はどのような工夫をしているのか伺いたい。

選定委員

東京書籍については、高さの表し方が細かく色分けされており、視覚から地域の様子を捉えることができるよう工夫されている。帝国書院については、図や表の数が多く、様々な角度から地域の様子について調べることができるように工夫されている。

委員

音楽の2者について、我が国の伝統音楽や音楽文化についてどのような配慮がなされているか伺いたい。

選定委員

教育出版については、わらべうた、世界の生徒の歌、郷土の音楽、世界の様々な音楽、日本の伝統音楽等が発達段階に応じて、鑑賞と表現それぞれで興味深く学習できるように配慮されている。教育芸術社は、「心の歌」と称して、我が国の文化

などについて説明文や情景写真などが用意されており、生徒が知的好奇心や感受性を働かせながら歌うことができるように配慮されている。また、各学年に「歌い継ごう日本の歌」として童謡や唱歌が取り上げられており、斉唱から合唱へと幅を広げ、各学年や全校合唱ができるようになっている。

#### 委員

技術・家庭の技術分野について、本文の内容を裏付けたり、理解を助けたりするための客観的なデータ資料はそれぞれどうなっているか。

#### 選定委員

東京書籍は、題材数、観察・実験、見学、調査・研究の例示数が多く、例示された物を確認しながら学習内容と技術との関連を意識させる構成となっている。また、教科書の横幅が広いので、大きな紙面が見開きになり一覧で確認できる資料が掲載されている。さらに、「言葉のページ」を設けて技術分野で使われる「独特の言い回し」や「名称」について掲載し、用語の説明をしている。開隆堂出版は、各内容に「学習の目標」が提示され、学習内容に合わせて「考えてみよう」「思い出してみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「観察してみよう」など、主体的に学習を進めるためのポイントが示されている。また、「リンク」マークにより、生徒が他の学習項目や家庭分野との関連等を確認しながら学習に取り組める工夫がなされている。

#### 委員

同じく技術分野について、情報化社会を生きていく中で必要な危険性についての知識や、情報を安全に利用するためのルールやマナーに関し、どのように扱っているのか伺いたい。

#### 選定委員

東京書籍は、「技術の天びん」や「情報モラル」などのマークを利用し、技術の評価・活用につなげ、それが生活に生かせるように記載している。巻末に付された「防災手帳」など災害に備えることもこれからの社会を生きていく中で必要であると考え。開隆堂出版の特徴としては、技術の歴史を振り返り、現在の生活、そしてこれからの社会へとつながる流れになっている。また、ガイダンスにおいて、小学校からのつながりに触れ、将来へとつなげるような内容になっている。

#### 委員

英語について、推薦された2者の違いを伺いたい。

#### 選定委員

2者の大きな違いは見開き配置の構成である。東京書籍は左側に本文、右側上部に基本文を配置している。これは「本文の中から基本文を抜き出す」という形を基本にしているからだと思われる。また、この基本文は巻末の基本文一覧に対応した通し番号がつけられている。基本文の次には基本練習を配置しており、練習問題で

定着を図り、パートの最後には「書く」活動で学習の成果を確認できる「Write」が設けられている。開隆堂出版は左側上部に基本文を配置しており、基本文は新言語材料を場面・状況のわかりやすい対話形式で提示している。次に新言語材料を聞いて理解する「Listen」、口頭で練習する「Speak」、新言語材料をインタラクティブ、総合的に使って自己表現する「Try」を設けている。右側にある本文の次に「Write」を設け、学習した言語材料を「書くこと」の自己表現につなげている。

教育長

全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査結果から、国語の読解力、表現力が本市の課題であると捉えている。基礎的、基本的な知識・技能を習得させ、思考力・判断力・表現力を育成するため、2者はどのような工夫をしているのか伺いたい。

選定委員

まず基礎的、基本的技能については、教育出版は「学びの重点」、光村図書出版は「学習」という項目をそれぞれ設け、定着させる工夫をしている。その上で、思考力・判断力・表現力を育成するため、教育出版は、「みちしるべ」の「確かめよう」「深めよう」や「学びのチャレンジ」を通して、思考を深められるようにしている。また、光村図書出版は、「学習を振り返る」「生活に生かす」「他教科に生かす」において、学習の振り返りと、学習内容を生かす場を示している。

教育長

主体的に学習に取り組む態度を養うため、2者はどのような工夫をしているのか伺いたい。

選定委員

教育出版は、各教材に「目標」と「振り返り」を示している。特に、「挑戦しよう」では発展的な学習を示し、自分で取り組める問題を設けている。光村図書出版は、「学習の見通しをもとう」で、1年間で身につける力を示し、学習計画を立てたり、振り返って次の学習に生かしたりできるよう工夫している。

教育長

4年間使用してきた国語の教科書について、課題となるような点があるか伺いたい。

選定委員

現在、光村図書出版の教科書を使用しているが、生徒にとってわかりやすく取り組みやすい内容となっており、効果的に学習が進められるよう工夫されていると感じている。

教育長

現行の社会の教科書について、課題となるような点があるか伺いたい。



#### 選定委員

地理・歴史・公民とも東京書籍の教科書を使用しているが、特に地理・公民については1単位時間の中で現代社会の課題が確認でき、主体的に学習に取り組ませる工夫が施されている。また、1時間の授業のまとめの部分で要約等の言語活動を行うことにより、思考力や表現力を高めることができると考える。

#### 教育長

地理の教科書と地図帳は同一出版社の方が利点があるという考え方はあるのか伺いたい。

#### 選定委員

それぞれに優れた点があるため、必ずしも同一の出版社である必要はないと考える。

#### 教育長

数学的なものの見方、考え方、また資料を読み解き、問題を解決する力を養う工夫について伺いたい。

#### 選定委員

東京書籍は、学習の目当てが示され、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために細かく段階を追って構成されている。さらに、必要に応じて学習の進んでいる生徒が取り組める難易度の高い問題も用意されている。新興出版社啓林館は、測注において生徒がつまずきやすい、間違いやすい例や問題解決のためのヒントが他者より多く用意されており、数学が苦手な生徒にも自力解決を促すよう工夫されている。現在使用している教科書は新興出版社啓林館のものであるが、問題の配列など、効果的に学習が進められるよう工夫されていると考える。

#### 教育長

理科における、観察・実験の取り上げ方の違いについて伺いたい。

#### 選定委員

東京書籍の観察・実験は、目的が明確に示されており、方法、結果の見方、考察のポイントなどわかりやすく構成されている。「予想しよう」「推測しよう」などのタイトルをつけ、主体的な学習を促すとともに、科学的な思考力・表現力を育成するための工夫がなされている。学校図書については、観察・実験の課題を、統一して「？」マークで示し、目的をはっきりと意識させている。また、「結果」と「考察」を分けて示すことで、その違いを意識させ、結果を分析して解釈する場面を設けている。目的意識をもち筋道を立てながら結果を導き出すことで、思考力・判断力・表現力を育成していく工夫をしている。

#### 教育長

音楽の現行の教科書に対する教員の意見について伺いたい。

#### 選定委員

現在、音楽は教育芸術社の教科書を使用している。創造力を育成するためには、まず思考力・判断力・表現力を培うことが必要であると考え。音楽については、どのように聴くのか、どのように表現するのか、思考、判断の力が問われる。思考、判断の基となるのが、例えば、速さや強弱などの共通事項であり、学習の中心である。教育芸術社の教科書は目次が「音楽マップ」として、共通事項を中心に系統的に題材をまとめている。教員はこの共通事項を基に表現と鑑賞を関わらせて効果的に指導を行っていると聞いている。

教育長

美術の2者において、生徒の発達段階を考慮している点について伺いたい。

選定委員

開隆堂出版は、資料の流れの中で表現と鑑賞を関連させ、発達段階ごとの学びを考慮した構成になっている。日本文教出版は、デザイン、工芸、彫刻などそれぞれの分野ごとに「表現」と「鑑賞」のページを分けた構成となっているが、各題材名の右側に、「学びのねらい」を示し、効果的に学習が展開されるよう工夫している。

教育長

本市では「がん教育」に取り組んでいるが、保健体育の2者について、「がん教育」をどのように取り上げているか伺いたい。

選定委員

大日本図書はトピックスの中で「がんの予防について」取り上げ、ほかにも「生活習慣病の予防」や「喫煙と健康」の章で、がんについて取り上げている。東京書籍も同様に生活習慣病や喫煙などを取り上げた章で、がんについて記載しているが、加えて章末資料として「がんについてもっと知ろう」というページを設け、国立がん研究センター研究所の方にインタビューし、QA方式でわかりやすく掲載されている。

教育長

生活に関心をもたせ、それを学習に生かすために工夫している点について、技術・家庭の技術分野の2者について伺いたい。また他者において顕著な例があれば併せて伺いたい。

選定委員

生活に関心をもたせるということは、技術分野における題材等に関心をもたせるということであり、そのためには多くの題材数を掲載する、観察や実験、見学、調査・研究の例示数を多くするなどの工夫が必要であり、2者とも工夫している点であると考え。2者は教科書のサイズが異なっているが、それぞれの紙面に合わせ、見やすく、生活に結びつけられるような、工夫が施されている。

教育長

本市中学校第3学年においては、英語の4技能の中で「話す」「書く」が課題で

あると捉えているが、英語の教科書で2者について、特に「話す」力を伸ばすために工夫している点があれば伺いたい。

#### 選定委員

一般的に言語習得の過程においては、まず新しい言語を習得し、それを活用し、そして自ら発信するところまで高めていく必要があると捉えている。東京書籍は「Unit」で習得し、「Daily Scene」で活用し、「Presentation」で発信する構成となっている。開隆堂出版はさらに「My Project」でProgramで学んだ表現を用いて行うパフォーマンス活動を各学年に3か所ずつ設置している。また、各学年の巻末にあるCan-Doリストで、技能別に3年間を見据えた学習到達指標が一覧表で示され、自分の状況が確認できるようになっており、子どもたちが意欲的に、言語を習得、活用、発信する力を高められるような工夫がなされている。

#### 教育長

教科書が非常に重いという意見を聞くが、その点について、意見等あれば伺いたい。

#### 選定委員

英語に関しては、サイズも厚さもそれほど変化はないと考える。保健体育については以前と比較すると写真やイラストも多く、軽量化していると捉えている。

(教育長及び教育委員による投票)

#### 教育長

開票の結果、光村図書出版「国語」3票、教育出版「伝え合う言葉 中学国語」1票、他は0票となり、国語は、光村図書出版「国語」を採択することとする。

開票の結果、教育出版「中学書写」4票、他は0票となり、書写は、教育出版「中学書写」を採択することとする。

開票の結果、東京書籍「新編 新しい社会 地理」4票、他は0票となり、社会地理的分野は、東京書籍「新編 新しい社会 地理」を採択することとする。

開票の結果、東京書籍「新編 新しい社会 歴史」3票、帝国書院「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」1票、他は0票となり、社会歴史的分野は、東京書籍「新編 新しい社会 歴史」を採択することとする。

開票の結果、東京書籍「新編 新しい社会 公民」3票、日本文教出版「中学社会 公民的分野」1票、他は0票となり、社会公民的分野は、東京書籍「新編 新しい社会 公民」を採択することとする。

開票の結果、帝国書院「中学校社会科地図」4票、他は0票となり、地図は、帝国書院「中学校社会科地図」を採択することとする。

開票の結果、新興出版社啓林館「未来へひろがる数学 Math Naviブック」3票、東京書籍「新編 新しい数学」1票、他は0票となり、数学は、新興出

版社啓林館「未来へひろがる数学Math Nav iブック」採択することとする。

開票の結果、東京書籍「新編 新しい科学」4票、他は0票となり、理科は、東京書籍「新編 新しい科学」を採択することとする。

開票の結果、教育芸術社「中学生の音楽」4票、教育出版「中学音楽」0票となり、音楽一般は、教育芸術社「中学生の音楽」を採択することとする。

開票の結果、教育芸術社「中学生の器楽」4票、教育出版「中学器楽 音楽のおくりもの」0票となり、音楽器楽合奏は、教育芸術社「中学生の器楽」を採択することとする。

開票の結果、日本文教出版「美術」3票、開隆堂出版「美術」1票、光村図書出版「美術」0票となり、美術は、日本文教出版「美術」を採択することとする。

開票の結果、東京書籍「新編 新しい保健体育」4票、他は0票となり、保健体育は、東京書籍「新編 新しい保健体育」を採択することとする。

開票の結果、東京書籍「新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」4票、他は0票となり、技術・家庭技術分野は、東京書籍「新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」を採択することとする。

開票の結果、開隆堂出版「技術・家庭（家庭分野）」4票、他は0票となり、技術・家庭家庭分野は、開隆堂出版「技術・家庭（家庭分野）」を採択することとする。

開票の結果、開隆堂出版「SUNSHINE ENGLISH COURSE」3票、東京書籍「NEW HORIZON English Course」1票、他は0票となり、英語は、開隆堂出版「SUNSHINE ENGLISH COURSE」を採択することとする。

## 日程第2議案第19号 令和2年度使用小学校用教科用図書の採択をすることについて

副部長兼教育指導課長

義務教育諸学校の教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を採択する場合を除き、4年ごとに採択することとなっている。今回は令和2年度から全面実施となる小学校学習指導要領に基づく教科用図書の採択である。

本市は第9採択地区（市単採択）であり、教科用図書採択については川越市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則に基づき、13種目の小学校用教科用図書について教育委員会が審議し、採択しようとするものである。

今年度の採択までの概要について説明する。本年5月から本日まで、規則に定められた各機関が、見本本が送付された教科用図書について綿密な調査研究と慎重な

協議・検討を行ってきた。

教科用図書調査研究専門員会は、各教科の教科用図書について、公正中立な立場から真摯に調査研究を重ね、「教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告書」を作成し、教科用図書選定委員会に提出した。教科用図書選定委員会では、本日までの間に3回の会議を開き、専門員会から提出された「教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告書」とともに、学校からの意見、保護者の意見を踏まえ、「市町村の教育委員会等が教科書を採択するに当たっての採択基準」を基に本市の観点を設定して協議・検討を行った。なお、教科用図書選定委員会から推薦教科書として報告されていない教科書についても、採択の対象であり、審議及び採択をお願いしたい。

教育長

審議の進め方についてお諮りしたい。

小学校用教科用図書については、これまでに各選定委員により、見本本について十分に研究されているところである。また、専門員の報告書、校長からの報告についても、全て事務局より事前に送付され、既に関覧、研究されている。また、教科用図書選定委員会の報告書についても、事務局より届けられている。相当な量になるが、慎重に審議していくこととする。

審議の進め方については、13種目の教科用図書について、種目ごとに選定委員からの説明を求め、審議することとし、審議順は国語、書写、社会、地図、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、保健、英語、道徳としてよろしいかお諮りしたい。

(全員異議なく同意)

教育長

次に、採択の方法についてお諮りしたい。

採択の方法については、すべての種目において審議終了後、無記名投票により、教育長及び教育委員3名の投票の結果、獲得票数が最も多かった教科用図書を採択することとし、結果を公表することとしてよろしいかお諮りしたい。

その際、獲得票数が同数となった場合は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項の規定に基づき、「教育長の決するところ」により採択することとしてよろしいか併せてお諮りしたい。

(全員異議なく同意)

教育長

国語についての審議及び採択を行う。

選定委員

国語の教科用図書調査研究専門員会において、教科書目録に掲載されたすべての

教科書4者、東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書出版について、調査研究を行い、それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と教育出版の2者とした。

東京書籍「新しい国語」では、学年段階に応じた言語活動が設定されるとともに、語彙を広げる工夫や情報の扱い方を身に付ける工夫などの方策が講じられている。また、各単元のでびきの終末に「言葉の力」の欄を設け、その単元で児童が身に付けるべき言語能力を単元の内容に即した表現で示している。1年間の学習や単元毎の見通しがもてるように「すすめ方」が具体的に示されている。また、単元毎の学習過程を「つかむ」「取り組む」「振り返る」の3ステップで構成し、「つかむ」では、既習事項を確認した上で、その単元の見通しをもち、終末でしっかりと振り返りをしていくようになっている。これにより主体的に学び、自分の成長を実感できるように工夫されている。「取り組む」では、「問いの文」が示され、課題を明確にし、単元を通して課題解決的に国語科の学習を進められるようになっている。その過程で、挿絵とその吹き出しなどを使い、伝え合う活動も取り入れ、思考力や創造力を養うことができるように工夫されている。単元の最後には、身に付けた力を他教科や生活に生かす方策を示している。伝統的な言語文化や読書に親しむ方策も工夫されている。

教育出版「ひろがる言葉 小学国語」は、学習の見通しがもてるように、巻頭で1年間の流れを把握し、巻末で、1年間の振り返りができるようになっている。内容的にも前学年の学習を生かすように教材が螺旋的に配列されているとともに、他教科に広がる教材や学習活動が設けられている。語感や言葉の使い方の感覚を養う教材が系統的に配列され、語彙拡充のために単元毎に身に付ける語意を示すほか、巻末の「言葉の木」や「言葉のまとめ」にも掲載されている。また、学習の進め方が教材の始めに明記されるとともに、思考力・判断力・表現力の育成のための言語活動の具体例が示され、主体的に学んでいけるように工夫されている。各学年で確実に身に付けたい力を「ここが大事」で端的にまとめ、学習用語も詳しく解説されている。学習過程が明確に分かるように学習の展開や段階を明示したり、重点化を図って取り立てたりして、見通しがもてるように配慮されている。「てびき」では、学習者が自らの考えを形成し、深化、拡充させられるように、学習活動を設定したり、自分の考えを形成するための観点を例示したりしている。

## 委員

2者の教科書の違いを伺いたい。

## 選定委員

国語では「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域があるが、東京書籍は1単元を1領域で構成しているが、教育出版は1単元を2領域で構成している単元がある。表記・表現の点では、どちらもユニバーサルデザインを意識し

ているが、東京書籍は青色を基調とし、色覚の多様性に配慮している。教育出版は児童が読みやすいレイアウトになっている。

委員

学力向上を図る視点からの工夫について伺いたい。

選定委員

2者とも学力向上を図る工夫が見られるが、特徴的な点をあげると、東京書籍では各單元において、はじめに問いの文が設定されており、問いを解決する過程に沿った学習内容や学習活動が具体的に示されている点が特徴的である。学習活動の例示の点では、教育出版において、「たしかめよう」「考えよう」「深めよう」「広げよう」といった4つの学習過程で示されている点が特徴的である。

委員

次期学習指導要領において、「情報に関する事項」が新設されたが、その点について2者の特徴はどのようになっているか伺いたい。

選定委員

東京書籍では、第2学年以上で情報の扱い方と関連させた「書くこと」の小単元を学年はじめに設定し、情報を整理したり、情報を関連付けさせたりする力を身に付けられるようにしている。教育出版では、説明文教材で、情報を扱うための文型や話型を示し、情報の関連付けや情報の整理について捉える学習活動を設定している。

教育長

全国学力・学習状況調査で求められている、思考力・判断力・表現力を養うのに効果的な構成について、4者ともそれぞれ工夫をしていると捉えている。4者それぞれの優れた点について伺いたい。

選定委員

東京書籍では各單元において、はじめに問いかけがあると説明したが、最初に学習の方向性を示すページがあることにより、教員、児童ともに、学習の見通しがもちやすい。学習の見通しがもてることは重要であると考えます。教育出版では、先ほど説明した学習過程を示していることのほか、單元ごとに小さなコラムを設け、学習の見通しをもたせている。同様に、学校図書、光村図書出版についても、見通しをもって学習に取り組めるよう力を入れており、課題解決学習的な取組によって児童の学力向上を図る構成となっている。

教育長

東京書籍では、課題を明確に示し、単元を通して課題を解決していく学習に、効果的に取り組める構成になっているとのことであったが、教育出版の構成はどのようになっているのか確認したい。

選定委員

教育出版も同様に、課題解決に取り組めるような構成になっている。

教育長

高学年の教科書に掲載される文学作品が減少傾向にあると聞いているが、4者の状況について伺いたい。

選定委員

4者とも、精選された良い作品が掲載されている。

教育長

今回推薦の2者について確認したい。

選定委員

東京書籍、教育出版ともに、児童が思考を巡らせることのできる良い題材が選ばれている。

教育長

第1学年の教科書を比較したところ、入学してからの学校生活についての単元において、教育出版は絵が多く、児童に想像させる内容となっている。これに対し、東京書籍は文章が多い。このことについて選定委員の考えを伺いたい。

選定委員

どちらもそれぞれのよさがあると考え。想像することも大切であるし、早い段階で文字に触れることも大切であると考え。文字の習得については個人差があるため、早い時期から慣れることも必要である。

(教育長及び教育委員による投票)

教育長

開票の結果、東京書籍「新しい国語」3票、教育出版「ひろがる言葉 小学国語」1票、他は0票となり、国語は、東京書籍「新しい国語」を採択することとする。

教育長

書写について審議及び採択を行う。

選定委員

書写の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載されたすべての教科書5者、東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書出版、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、教育出版と光村図書出版の2者とした。

教育出版「小学 書写」では、各学年で「学習の進め方」が掲載されており、課題解決の具体的な方法を知り、学習が進められるような構成になっている。また、学習した内容が系統的に繰り返し学べるように、「点画の種類」「前学年までの学習を振り返ろう」「学習のまとめ」が設けられている。第3学年から第6学年では、



「考えよう」「生かそう」「ふり返ろう」の学習過程を示し、見通しをもって主体的に学べるように工夫されている。また、基礎的・基本的な書写技能を身に付けさせるための工夫をしている。巻頭で書写用具の使い方・取扱い方を写真や合い言葉で示していること、低学年では字のマスをもつ部屋に分け、書き始めのポイントがわかりやすくなっていること、毛筆教材では穂先の通り道がわかりやすいように運筆の写真や2色で濃淡をつけた資料が提示されていること、毛筆の前後に硬筆で「ためしがき」「まとめ書き」を書く活動が設けられていることなどである。全学年で「書いて伝えよう」の単元を設け、思いを伝える活動を入れたり、「レツトライ」で日常生活に生かしたり、発表資料やリーフレットなどの他教科での活用例も示されている。

光村図書出版「書写」では、基礎的・基本的な書写技能を身に付けるために、巻頭で書写用具の使い方、取り扱い方、姿勢について写真やイラストを使って示していること、「たいせつ」マークで基本点画のポイントが示されていること、2色の淡墨を用いて筆の穂先の通り道を示していること、筆順の流れを丁寧を示していることなどにより、スモールステップで学習を進める工夫がなされている。また、レイアウトとしては、原則見開き2ページで始めにポイントを示し、その後に手本が示される作りになっており、学習の見通しがもてる工夫がされている。巻頭で学習の進め方を明示し、学習過程を「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3ステップで見通しをもって主体的に学べるようになっている。「確かめよう」では、友達と確かめ合ったり、話し合ったりする活動を取り入れ、考えながら学習に取り組むようになっている。低学年では書写体操を取り入れたり、第3学年ではシールを活用したりするなどの工夫もある。学年に応じて手紙や掲示板などの活用例が示され、第6学年では「書写ブック」が添付され、他教科や日常生活に生かせる工夫なども施されている。

#### 委員

光村図書出版の説明の中で、スモールステップを積み重ねる工夫がされているとあったが、具体的にはどのような工夫なのか伺いたい。

#### 選定委員

学習過程の「考える」で友達と話し合ったり、自分で考えたりし、「確かめる」で気を付けるポイントを明確にしたうえで課題に取り組むことができる流れになっている。その後「生かす」で硬筆と関連付ける流れで構成されている。それぞれの過程をスモールステップで進めることで、正しく整った文字を書くためのポイントを明確にして課題に取り組むことができるように工夫されている。

#### 委員

2者の相違点について伺いたい。

#### 選定委員

光村図書出版は、先にポイントが示されており、教育出版はポイントが文字のあとで示されているので、構成が逆になっているところが、特徴的であると考えている。また、光村図書出版は基本的に見開き2ページで構成されているのに対し、教育出版は3ページにわたる单元もある。

委員

教育出版の説明の中にある、巻頭に前学年で学習したことを振り返るとあるが、具体的にはどのようなものなのか伺いたい。

選定委員

巻頭の目次と同じページに前学年で学習した文字の書き方のポイントなどが掲載されている。第4学年では、それに加えて、第3学年で学習したことを確かめる学習内容を取り入れている。共に、基礎的・基本的な書写技能を身に付けさせるという手立てが細かく施されている。2つ目には、児童が主体的に書写の学習に取り組める工夫がされている点である。

教育長

光村図書出版の説明の中で、第3学年ではシールを活用するとあったが、どのような効果が期待されるのか伺いたい。

選定委員

第3学年は初めて毛筆に取り組む学年である。始筆の押さえ、送筆の流れ、終筆の止め、はねなど、自分ができたところをシールを用いて細かく確認することは初期段階では重要であるとする。初期段階で1つ1つ確認しながら学習を進めるねらいがあるとする。また、児童が楽しみながらシールを貼る様子を考えると、教科への興味・関心を高める意味でも効果的に活用できると考える。

教育長

鉛筆の持ち方について5者とも丁寧に取り上げているが、

選定委員

それぞれの良さがある。QRコードを用いて、鉛筆の持ち方を動画で見せるものもあれば、「つまんで」「はなして」など「えんぴつのもちかたのあいことば」として児童が取り組みやすい工夫をしているものもある。これらを用いて丁寧に指導すれば、鉛筆を上手に持てるようになると考えている。

(教育長及び教育委員による投票)

教育長

開票の結果、光村図書出版「書写」4票、他は0票となり、書写は、光村図書出版「書写」を採択することとする。

教育長

社会について審議及び採択を行う。

## 選定委員

社会の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載されたすべての教科書3者、東京書籍、教育出版、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、教育出版と日本文教出版の2者とした。

教育出版「小学社会」では、単元を通して追究していく「問い」を明示し、この「問い」を受け、各学習時間の「中心となる問い」「次につなげる問い」の構成のため、問題解決的な学習過程が児童・教師ともにつかみやすい。また、問題解決していくうえで重要な学習技能を「学びのてびき」として設定し、社会的事象について考える際の具体的な支援の工夫がなされている。さらに、小単元の末尾には「まとめる」を位置づけ、関係図をもとにした対話的な学習を通して学習の振り返りができるように工夫されている。資料が精選され、比較・検討しやすいように、各資料に記号を付けて本文を構成している。また、見開きの左右のページで対照的に地図や写真が提示され、興味・関心、資料活用能力の育成の上からも有効である。学習に役立つウェブサイトを見るためのQRコードも掲載され、主体的な学習に効果的である。また、自然災害などの課題についての教材の充実を図っている。

日本文教出版「小学社会」では、児童が交流を重ねながら学習を進めていく構成となっており学習内容がぶれないように工夫されている。そのため、児童の思考の流れを大事にした学習構成となっており、児童が意欲をもって追究し、問題を解決していくことが主体的に学習できるよう配慮されている。また、「見方・考え方コーナー」「学び方・調べ方コーナー」を設定し、基礎的・基本的な知識や観察・資料活用力を育成するための支援が効果的に配置されている。第3学年の「市のようすとくらしのうつりかわり」の単元は川越を教材として取り上げ、郷土のよさの理解が一層図れるとともに、市の副読本との活用とあわせることにより、理解がより一層深まることが期待される。資料が豊富であり、大きな写真資料や臨場感のあるイラスト等が随所に配置され、興味・関心をもって学習が展開できるよう工夫されている。学習に役立つウェブサイトを見るためのデジタルマークを掲載し、学習の深化に効果的である。また、社会的重点課題に関する教材の充実も図っている。

## 委員

QRコードとデジタルマークは異なるものであるのか確認したい。

## 選定委員

名称が異なるだけで、どちらもタブレット端末等に読み込ませ、動画などが見られるウェブサイトにつながるものである。

## 委員

領土問題とその歴史的事象について、小学校の教科書でどこまで解説するか難しいところであると考えているが、推薦された2者について記述の差異があれば伺いたい。

## 選定委員

領土問題とその歴史的事象については、2者とも第5学年あるいは第6学年の教科書において、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」について、地図等で明示し、日本の領土として解説している。特に教育出版では、現在の状況を詳しく解説しているが、日本文教出版においても解説している点から、両者に差異はないものと考えている。

## 委員

東日本大震災や、最近では水害なども起きているが、大規模な自然災害についての記述はどのようになされているのか伺いたい。

## 選定委員

大規模な自然災害については今回の改訂により、新たな学習内容として単元が設けられたものであり、自然災害とは、地震、津波、水害、噴火、大雪等と捉えている。教育出版では、第4学年では「自然災害にそなえるまちづくり」の中で、大規模な自然災害の事例を取り上げている。また、第5学年では「国土の自然とともに生きる」、第6学年では「ともに生きる暮らしと政治」の中で、東日本大震災等の事例が取り上げられている。

日本文教出版では、第4学年の第3単元に「自然災害から人々を守る活動」が新設された。また第5学年の「国土の環境を守る」、第6学年の「わが国の政治のはたらき」の中で、東日本大震災が事例として取り上げられている。

## 委員

原子力発電所についての記載はどのようになっているか伺いたい。

## 選定委員

原子力発電所については2者ともに、福島第一原子力発電所の事故を取り上げている。教育出版では、発電するときに二酸化炭素を出さない発電方法とされる一方で、安全性の問題や使用済み核燃料の処分の問題などで課題を抱えていると記述している。日本文教出版では、少ない燃料で大きな電力が得られる一方で、地震や事故が起こったときなどの危険性についての不安や、燃料や廃棄物の取り扱いが難しいことが記述されている。

## 教育長

社会科においては問題解決型の学習に重点がおかれており、東京書籍の教科書もわかりやすく方向性が示されていると考える。推薦された2者について、問題解決的な学びが実現できるような特徴があるか伺いたい。

## 選定委員

東京書籍を含め3者とも、問題解決的な学習が促進されるという点で高い評価であった。しかし、問題解決型にふさわしい提示、また課題提起から児童が自発的に課題解決に向け、調べ、まとめ、発信していくという過程が学習に則しているとい

う意見が多かったため、僅差であると考えてるが、2者を推薦したものである。

教育長

東京書籍は第5、第6学年の教科書が分冊となっている。分冊についての意見を伺いたい。

選定委員

重さの面で負担軽減になっていると考える。しかしながら、社会科の学習においては、歴史的事項、政治・経済等、振り返りながら数年を通して学習していくため、1冊で完成されたものの方が学習に則していると考えてる。

教育長

自衛隊の役割についての記述に違いがあれば伺いたい。

選定委員

教育出版は、憲法の「平和主義」の中で自衛隊の主な役割、緊急的支援、平和維持活動などについて記載している。また、日本文教出版では「世界の平和と国連」の項目において、国際貢献に果たす役割など、自衛隊の有用性について記載している。東京書籍においても同様に、平和主義と合わせて自衛隊の役割について記載されている。

教育長

東京書籍については東日本大震災等における被災地支援に焦点を当てた記載の仕方が特徴であると考えてる。

次に、日本文教出版は、川越を教材として取り上げているが、この点について意見を伺いたい。

選定委員

川越を教材としていることにより、児童の郷土への興味・関心を高める効果がある。また、実際に体感している伝統や文化について、今後どのように維持していくかなどの願いや思いが、児童の学習内容にダイレクトに響くのではないかと考える。さらに、本市で作成している副読本との併用により、その効果は一層高められると考える。

教育長

第3、第4学年では、行政の取組について調べる内容が取り上げられているが、すべての教科書で共通なのか確認したい。

選定委員

全教科書、共通である。博物館や市役所等で職員にインタビューをし、仮想的に課題を解決するような流れの学習になっている。

教育長

租税教育については本市においても力を入れているが、租税教室について記載されている教科書があるか確認したい。

## 選定委員

租税は国民の義務であるため、税を納めることにより国民の生活が成り立っているということは各教科書に記載されているところである。租税教室については教育出版に記載がある。

## 教育長

教科書の大きさ、重さについて伺いたい。

## 選定委員

内容を考えるとやむを得ないと考えるが、1冊の教科書については紙の軽量化を図るなど、各者、工夫しているところである。

(教育長及び教育委員による投票)

## 教育長

開票の結果、日本文教出版「小学社会」3票、教育出版「小学社会」1票、他は0票となり、社会は、日本文教出版「小学社会」を採択することとする。

## 教育長

地図について審議及び採択を行う。

## 選定委員

地図の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載されたすべての教科書2者、東京書籍、帝国書院について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と帝国書院の2者とした。

東京書籍「新しい地図帳」では、地図や巻末の資料等が見やすく、地図の色調はユニバーサルデザインを用い、明るくくっきりとした色づかいで構成されている。また、絵による記号も多く、各地域の特色を感覚的につかみやすく工夫されている。さらに、各ページで地図上にキャラクターを登場させ、吹き出しを活用して児童の興味・関心を高める工夫がなされている。特に、冒頭の世界地図は、見開きのイラスト地図を用い社会科学習への興味・関心を高めるものとなっている。また、全ての地図においても海洋部分も詳細に描写されている。全体図では、土地の高低を中心とした色分けにし、拡大図は土地利用の分布を中心に色分けするなど工夫している。主体的な学習を促す「Dマーク」を随所に設け、学習を補完するデジタルコンテンツやウェブサイトを活用できるように工夫され、学習への興味・関心を高められるようにしている。

帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」は、左端上に地方区分等のインデックスが付けられ、地図の配色も明るく落ち着いたある穏やかな色調で、ユニバーサルデザインを全編にわたって取り入れ、用いた文字もわかりやすく配置されている。また、各見開きには土地の高さと土地利用のインデックスが付き、土地の様子を把

握しやすいよう工夫されている。市町村名も細かく掲載し、交通網等は最新の情報を加えるなど、調べる活動を一層充実できるよう工夫されている。概観の捉えやすい160万分の1の地図と通常の100万、50万、30万分の1の地図の2部構成で、第3学年から第6学年の幅広い学年で十分に活用できるよう配慮されている。資料活用能力を高め、主体的な学習を促す「地図マスターへの道」やキャラクターの吹き出しを設定し、活用スキルや社会科の見方・考え方が身に付くよう工夫されている。タブレット等を活用した学習の支援のため、各ページにQRコードを設け、学習への興味・関心を高められるようにしている。

委員

自然災害について、2者はどのように掲載しているか伺いたい。

選定委員

東京書籍では、巻末に取り上げられている。地震及び津波・台風・豪雨・火山の噴火などについての写真が掲載され、過去の発生場所が地図にまとめられている。帝国書院では、「日本の自然災害と防災」として取り上げられている。地震及び津波・台風・豪雨・火山の噴火などについての写真が掲載され、過去の発生場所が地図と一覧表でまとめられている。また、災害への備えについて、それぞれの自然災害ごとに記載されている。

委員

地図帳を採択するうえで、最も重要な点は何か伺いたい。

選定委員

児童が地図帳を使用する際、資料としていかに活用しやすいかが重要であると考えられる。その点で2者ともよく研究している。文字や記号を大きくしたり、ユニバーサルデザインを用いて色調を考えたり、さまざまな配慮がなされている。

委員

どちらもよく研究して作られているとのことであるが、2者に大きな違いはないということか確認したい。

選定委員

大きな違いはない。特徴をあげるとすれば、東京書籍は人物等のキャラクターと吹き出しを用いて、児童がより親しみやすい紙面構成となっている。帝国書院は、全体を見渡せるような地図と通常地図との2部構成となっているところが特徴的である。2者ともユニバーサルデザインを取り入れているが、色調の穏やかなもの、少し濃いものといった違いはある。

委員

「尖閣諸島」「竹島」「北方領土」については、どのように取り上げられているか伺いたい。

選定委員

2者とも、領土全体を示しながら見開き2ページで掲載している。東端、西端、南端、北端の島の様子について、写真と現状の説明が掲載されている。

委員

児童が社会を学習する際、地図帳は常に手元に置き資料とするものである。見やすさという点が非常に重要であると考えるが、2者はどのような工夫をされているのか伺いたい。

選定委員

2者ともユニバーサルデザインを取り入れている。版を大きくし、地図をできるだけ大きくする。文字や記号などについてもはっきりと見やすい字体や色を使用している。

教育長

2者の特色について伺いたい。

選定委員

帝国書院は地図としての見方・考え方に基づいたコンセプトで作られている度合いが強い。東京書籍については地図はもちろんであるが統計資料等も豊富で、資料集としての用途もある。

教育長

2者を比較すると、東京書籍は帝国書院のものには掲載されていないような地名や地域の産物等、非常に詳しいものとなっている。ここまで詳しい必要があるのか確認したい。

選定委員

東京書籍については、統計等も掲載した資料集としての扱いが強く、その点に重きを置いた地図帳であると考え。従って、東京書籍に掲載されている資料のすべてを授業の中で網羅することは困難であると捉えている。帝国書院についても資料が少ないというわけではなく、授業では十分な内容である。

教育長

2者ともユニバーサルデザインを取り入れているとのことであるが、そのほかに工夫している点はあるか伺いたい。

選定委員

東京書籍については、他教科との関連というところで、食育の分野や国語、音楽の教科書に登場する人物等についての記述が見られる。帝国書院はインクルーシブ教育に配慮し、手話で都道府県を表すコーナーが設けられている。

(教育長及び教育委員による投票)

教育長

開票の結果、帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」4票、東京書籍「新しい地図帳」0票となり、地図は、帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」を採択す



ることとする。

## 教育長

算数について審議及び採択を行う。

## 選定委員

算数の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載されたすべての教科書6者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と教育出版の2者とした。

東京書籍「新しい算数」では、問題解決的な学習を基本にして構成され、自分の考えや友達の考えを表現する活動を取り入れるなど、思考力・判断力・表現力を伸ばすように工夫されており、算数の内容を学ぶ過程で、数学的な見方・考え方を育める構成になっている。第1学年第1分冊のA4判中綴じの紙面や、小中の接続を意識した振り返りを設定するなど、校種間の接続が意識されている。キャラクターの言葉や補助発問によって、数学的活動を通して問題解決ができるように工夫されている。単元末の「たしかめよう」では、理解や技能の定着を図る問題が設定されている。巻末に児童がすぐに自己評価ができる解答付きの「ほじゅうのもんだい」などが設定され、個に応じた難易度の問題に取り組めるようにしている。巻頭の「学びのとびら」では算数の学び方が明示され、学習内容を生活や学習に活用する態度が育つよう工夫されている。「Dマーク」があるところでは、デジタルコンテンツを活用し、図形の仕組みの理解や反復練習の活用により、習熟を図ることができるようになっている。

教育出版「小学算数」では、児童の問いを重視し、その問いを学級で協働的に解決し、さらに新たな問いに向かう「問いの連続性」を意識できる構成になっている。

「算数のミカタ」では、各領域の数学的な見方を顕在化し、「算数で使いたい考え方」では、各学年で生かしたい数学的な考え方が示されている。巻頭の「算数をはじめよう！」で、問題解決の流れやノートの手書き方が例示してあり、スムーズに問題解決的な学習を進めていくことができる。また、数学的な見方・考え方を振り返ることで、そのよさを児童が実感できるように構成されている。各学年、上の巻頭に「算数で使いたい考え方」があり、全学年の学びを振り返り、その学年でも使いたい考え方が載っていて、思考力の育成を図ることができる。学年を超えて既習事項を振り返ることができるように「学びのマップ」を巻末に掲載したり、「考えるヒント」を掲載したりして、自分で学習に取り組めるように工夫されている。「算数ワールド」では、数学的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付けるようになっている。

## 委員

学力向上に向け、学習内容の定着が重要であると考え、そのためにどのような工夫がなされているか伺いたい。

#### 選定委員

学習内容を定着させる場として、授業と家庭とが考えられる。授業では学習内容を確実に定着させるため、2者ともに練習問題が用意されている。児童自らの振り返り学習や、発展的な学習に対応できるようになっており、家庭での繰り返し学習においても活用できる。

#### 委員

特に算数という教科においては、自学自習の習慣をつけることが学力向上への重要事項であると考え。この点で2者は、具体的にどのような取組を行っているか伺いたい。

#### 選定委員

学習内容を定着させる際に、授業の中で一律に同じ問題に取り組ませるのではなく、児童のそれぞれに応じた取組をさせる、振り返りをさせることが重要であると考え。児童自身が、自分に定着させるべき内容を意識することが自学自習の態度につながっていく。その点で、東京書籍は単元末の「たしかめよう」の問題で児童が自分のつまずきに気づき、どのページに戻ればいいのかわかるように工夫されている。教育出版では単元末に「ふり返ろう」と「たしかめよう」の2種類の問題が用意されており、振り返りの問題と発展的な問題に取り組み、学習内容の定着が図れているか確認することができる。いずれの教科書においても、与えられた問題だけではなく、つまずいたときにどこに戻り、どのように振り返ればいいのか、児童が考えて取り組むことができる工夫がなされている。

#### 委員

教員にとって使いやすい工夫などあれば伺いたい。

#### 選定委員

算数の授業については問題解決的な学習、学習過程を踏まえた授業展開が求められる。2者とも工夫がなされている。それぞれ教科書の中に吹き出しがあり、この学習活動がどのような意図で行われなければならないか、児童はもちろん、教員も吹き出しの内容を確認しながら授業を展開することができる。そうした工夫により、教員も指導しやすい教科書となっている。

#### 委員

2者の違いについて伺いたい。

#### 選定委員

まず、単元の終末において、東京書籍は「しあげ」の中で、具体的な問いが側注に示され、単元の学習を振り返ることができる。教育出版は「まとめ」の中で、4コマ漫画を用いて単元の核となる学習事項を振り返ることができる。次に巻末であ

るが、東京書籍は、『算数自習コーナー』という項を設け、「補充問題」「おもしろ問題」「ふりかえりコーナー」「さく引」を配置し、家庭学習にも対応できるよう留意している。教育出版は『学びの手引き』という項を設け、「線分図・数直線のかき方」「コンパス・三角定規・分度器の使い方」「学びのマップ」「さくいん」を配置し、児童が苦手とする学習活動を振り返ることができるよう留意している。

#### 委員

東京書籍にはDマーク、教育出版には「学びリンク」としてQRコードが着いている。それぞれのデジタルコンテンツに違いはあるのか伺いたい。

#### 選定委員

名称は異なるが、どちらも学習に役立つ情報を動的に確認することができる点に違いはない。例えば円の面積を求める単元では、円を半径で等分し、その扇形を並び替えると平行四辺形に、さらに扇形を細かくしていくと長方形に近づいていく、その様子を動画で確認できる。

#### 委員

児童はそれを授業の中で確認できるのか、それとも各家庭において確認するのか伺いたい。

#### 選定委員

基本的には授業の中で、大型モニター等に映すなどして用いる。家庭においても環境が整っていれば確認することができる。

#### 教育長

数学的な見方・考え方は本市において課題であると捉えているが、6者ともその点について工夫がなされている。推薦された2者のうち、東京書籍は問題、課題、解決、まとめという学習過程がわかりやすく構成されていると考える。一方で、例えば、教育出版では吹き出しを活用し、吹き出しの内容をヒントにして式の空欄を考えさせる流れとなっているが、東京書籍は式が先に示されており答えの空欄を求める流れとなっている。この違いについてどのように評価しているか伺いたい。

#### 選定委員

授業での扱い方にもよると考えるが、東京書籍の場合、ただ式を示しているだけでなく、その式を導き出すまでの過程に目を向けさせ、その上で式が示されていると考える。

#### 教育長

全国学力調査を意識した構成になっている教科書があるか確認したい。

#### 選定委員

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、つまずきの多かった単元について、全者、丁寧に扱っている。例えば、教育出版では単元末に「考えるヒント」というコ

ラムがあり、全国学力・学習状況調査の過去の出題を意識した問題を掲載するなど、所々で扱っている。

#### 教育長

各単元の導入部分についてみると、東京書籍では、いきなり問題に取り組むのではなく、まず児童の興味・関心を引き出すような導入となっている。教育出版の導入部分はどのようになっているか伺いたい。

#### 選定委員

各単元の冒頭、「どんな学習がはじまるかな」というページで、まず児童の興味をひきつける構成となっており、その点では東京書籍と同様であると考えます。

(教育長及び教育委員による投票)

#### 教育長

開票の結果、東京書籍「新しい算数」3票、教育出版「小学算数」1票、他は0票となり、算数は、東京書籍「新しい算数」を採択することとする。

#### 教育長

理科について審議及び採択を行う。

#### 選定委員

理科の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書6者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、信州教育出版社、新興出版社啓林館について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と新興出版社啓林館の2者とした。

東京書籍「新しい理科」では、理科の学び方や問題解決の流れがわかりやすいつくりとなっている。単元末に「たしかめよう」の問題を設定したり、児童の疑問を喚起したりしてより考えたくなる教科書になっている。鮮明な写真やイラストが豊富に使われている。前学年との系統性が示されていて、前学年の内容を整理し、知識を関連付けてより深く理解できるような作りである。領域ごとに学習内容をまとめるとともに、その学年の学習内容を記載することで、見通しをもち、系統立てて理解することができるように工夫されている。単元導入の「学ぶ前の私」と単元末の「学んだ後の私」で同じ問いに対して考えることで、理解が深まったことを実感できるような構成である。単元末の問題では、巻末に解答例を示し、家庭での学習も含めて保護者とともに理科の学習を深めることができるようになっている。

新興出版社啓林館「わくわく理科」では、理科の基礎・基本が身に付き、科学的な思考力・表現力を伸ばすことを意識している。主体的に問題解決に取り組み、学習の成果や学習の有用性を実感できるようにすることを大切にしている。鮮明な写真やイラストが豊富に使われている。問題文はマークと太字で、重要な用語は太字

で記されている。生活経験を基にして、児童から問題を引き出すことができるよう工夫されている。生物の共通性・多様性や生命の神秘さを実感できる話題を紹介し、自然環境への意識を高めようとしている。導入や予想、計画、考察などの場面で対話例が示され、児童が考えるための手がかりとなっている。空間認知をしやすくし、見通しをもって学習を進められるようなモデルを巻末につけている。単元末に、図や写真から情報を読み取る問題などを扱い、思考力を高めようとしている。

委員

児童の理科離れや理科嫌いが長く言われていると思うが、児童が興味・関心をもてるような工夫はなされているか伺いたい。

選定委員

児童が興味・関心をもつ工夫であるが、各教科書において、単元の導入部分がわかりやすいものとなっている。児童は実験、観察が非常に好きであり、理科が嫌いなわけではないと考える。こうした工夫により、学習する意欲は高まるものと考えている。

委員

観察や実験に関して、各者の扱い方に大きな違いはあるか伺いたい。

選定委員

大きな違いはない。各者とも、導入の提示、実験、結果の提示が同じページにはない。答えがわからないよう、課題解決を意識した構成となっている。

委員

実験や経験を通して問題解決能力を高めていくという点で、2者の違いがあれば伺いたい。

選定委員

どちらも学習過程を明記し、今、どの段階まで進んでいるかわかりやすく示している。特徴をあげるとすれば、東京書籍は比べることを通じて問題解決を促すような工夫が目立つ。新興出版社啓林館は子どもたちが活動する写真を大きく掲載し、児童の意欲を高める工夫をしている。

委員

思考力・判断力・表現力を培う工夫について伺いたい。

選定委員

問題解決の流れになると思うが、段階に応じてわかりやすく表記されている。教科書の構成により、児童に伝わるような工夫がなされている。

委員

新興出版社啓林館の教科書は「子どもたちが主体的に問題解決に取り組み、理科の基礎、基本を身につけ、自然科学の有用性を感じることができるようになりつつあり」ということだが、具体的にどのような作りとなっているのか伺いた

い。

#### 選定委員

「フラッグ&ライン」という見やすい問題解決の流れの提示がある。また、単元末に「まとめノート」が設けられており、その単元で学んだ内容が簡潔にまとめられ、そのページを読むことで知識の定着を図っている。「たしかめよう」には基礎的な問題が掲載され、「まとめノート」と併せて活用することで、知識・技能の確実な定着を目指す構成となっている。

#### 教育長

新興出版社啓林館の教科書は、児童が学習の成果や有用性を実感できるようにすることを大切にしているとの説明があったが、それはどのようなところでわかるのか伺いたい。

#### 選定委員

「つなげよう」、「理科の広場」というコーナーが設けられ、学んだことが生活のどのような場面で活用されているか、豊富な写真や資料とともに紹介されており、児童が学習の有用性を感じられるようになっている。

#### 教育長

東京書籍の教科書における問題解決の流れがわかりやすいとのことであるが、具体的に伺いたい。

#### 選定委員

「理科のミカタ」というコーナーが、1本の線で結ばれた問題解決の流れの随所に配置され、そこに設けられた質問をきっかけとして見方・考え方を意識的に働かせることができるようになっている。

#### 教育長

2者の良い点はどのようなところか伺いたい。

#### 選定委員

東京書籍は、「理科のミカタ」、「レベルアップ理科の力」というコーナーを設け、単元全体を通じて継続的に児童の力を育成しようとする作りが見られる。新興出版社啓林館は、随所に設けられた児童の対話例の中に見方や考え方の視点を盛り込むとともに、巻末の「ふり返ろう」や「理科の考え方ははたらかせよう」というコーナーを設けることにより、集中的に児童の力を育成しようとする作りが見られる。

#### 教育長

対話的な学習をするにあたって教員が使いやすいと考える特徴はあるか、2者について伺いたい。

#### 選定委員

2者ともに、教科書を開いたときに、導入部分と、観察・実験の結果が同じペー

ジには掲載されていない、答えの見えない構成となっている点である。

(教育長及び教育委員による投票)

教育長

開票の結果、新興出版社啓林館「わくわく理科」3票、東京書籍「新しい理科」1票、他は0票となり、理科は、新興出版社啓林館「わくわく理科」を採択することとする。

教育長

生活について審議及び採択を行う。

選定委員

生活の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書8者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、信州教育出版社、光村図書出版、新興出版社啓林館、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と新興出版社啓林館の2者とした。

東京書籍「新しい生活」では、上巻巻頭の「どきどき わくわく1ねんせい」では、スタートカリキュラムで行われる活動が具体的に示されている。また、下段に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をイラストで示し、保護者向けのメッセージを入れ、児童と保護者が一緒に教科書を開き、学校生活への期待を高める工夫がされている。教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力の3つの柱を、吹き出しや表現作品で具体化しているため、「何をするのか」、「何ができるようになるか」がひと目で分かるようになっている。また、生き生きとしたダイナミックな写真で児童の学習意欲を喚起するため、A4サイズになっている。上巻巻末には、春夏秋冬の季節に見られる主な動植物を実物大で描いた「ほんとうのおおきさポケットずかん」があり、切り離して屋外に持ち出せるようになっていて、学習効果を高める工夫をしている。

新興出版社啓林館「生活」では、上巻巻頭の「すたあとぶっく」では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて、スタートカリキュラムが示されている。また、スタートカリキュラムの意義や期待する子どもの姿を示すことで、保護者が安心感をもてるように、保護者へのメッセージが添えられている。生活科の学びのプロセスを考慮して、「わくわく」から「いきいき」、そして「ぐんぐん」の3段階構成で、活動の流れを分かりやすく示している。「ぐんぐん」では、他教科等との関連を図りながら、言葉、絵、動作、劇化などで表現を楽しんだり、デジタルカメラやタブレット端末などのICTを活用したりする多様な表現活動が例示され、学習効果を高める工夫をしている。下巻巻末には、第3学年へのステップブック「みらいにむかって」があり、生活科で身に付けた力や自分を支えている存在に

ついて自覚できると共に、意欲と自信をもって進級することができるように工夫されている。

委員

どの教科書もわかりやすく、児童が親しみやすいものであると感じた。2者を推薦するに至ったポイントはどのようなところか伺いたい。

選定委員

2者とも、文字の量が多過ぎず、注目させたいことに集中できるよう配慮されており、巻末の資料が児童にとってわかりやすく構成されている。また、生活科は様々な活動を行うが、その活動における注意事項を「約束」としてしっかりと載せてあり、児童と教師が一緒になって約束事を学習しやすい工夫がなされている点である。

委員

2者の大きな違いは何か伺いたい。

選定委員

教科書の大きさが違う。東京書籍はA4サイズであり、新興出版社啓林館より縦が長く、イラストや写真等もダイナミックさを感じる。

委員

第1、第2学年の生活科は第3学年から理科になる。先ほど理科の教科書を採択したところであるが、第1、第2学年の生活科の教科書と第3学年理科の教科書の出版社が異なっても支障はないのか確認したい。

選定委員

理科は全国的に使用できる教科書の内容となっているが、生活科は学校や地域の特色などを生かした活動が行えるような内容であるため、生活科と理科で出版社が異なっても支障はないと考えている。

委員

2者において地域との関わり、家庭、家族についての記述はどのようになっているか伺いたい。

選定委員

例えば、東京書籍では、公園のイラストを用いて、夏と秋、秋と冬の様子を比較させ、地域の四季の変化に気付けるような工夫をしている。新興出版社啓林館でも同様の単元が見られる。また、お手伝いの単元では、2者とも自分でできるようになったことを継続していく自信をもたせるような工夫が見られる。

教育長

2者に掲載されている資料について、児童の発達段階に即した配慮がなされているか伺いたい。

選定委員



どちらも配慮している。特に、第1学年の学校生活についてのスタートカリキュラムは2者ともかなりのページを割いている。東京書籍は、下段に保護者向けに「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主な例を掲載している。新興出版社啓林館は、児童がわかりやすいように「あ、い、う、え、お」の文字をとったキーワードを示し、保護者へのメッセージも添えるなど、工夫されたスタートカリキュラムとなっている。

教育長

授業における扱いやすさについて伺いたい。

選定委員

東京書籍はサイズが大きいこともあり、写真が印象的である。植物の観察の単元において、種、子葉、蕾と成長の様子をわかりやすく掲載している。観察図鑑カードの書き方を提示したページは、児童にとっても教員にとっても参考となるものである。新興出版社啓林館も、植物の観察の単元では同様の写真が掲載されているが、教科書のサイズから東京書籍が見やすく感じられる。

教育長

生活科では東京書籍の教科書が最も大きいですが、児童の荷物が重いことが懸念されているなかで、どのように考えるか伺いたい。

選定委員

文部科学省から、教科書を毎日持ち帰らなくてよい旨の通達も発出されている。家に持ち帰って家族で見ることもちろん考えられるが、教室に置いておくことも可能であると考えするため、見やすさという点ではこのサイズで良いと感じている。

教育長

2者以外で特徴的な教科書はあるか伺いたい。

選定委員

光村図書出版の教科書について、写真やイラストに付してある吹き出しが子どものつぶやきそのもので、子どもの五感に働きかけるような工夫を感じるころである。

(教育長及び教育委員による投票)

教育長

開票の結果、東京書籍「新しい生活」2票、新興出版社啓林館「生活」2票、他は1票となり、獲得票数が同数となったため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項の規定に基づき、教育長の決するところとし、生活は東京書籍「新しい生活」を採択することとする。

教育長

音楽について審議及び採択を行う。

## 選定委員

音楽の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載されたすべての教科書2者、教育出版、教育芸術社について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、教育出版と教育芸術社の2者とした。

教育出版「小学音楽 音楽のおくりもの」では、音楽の様々な諸要素を含んでいる楽曲を多く取り扱っている。「学習のめあて」と「まなびナビ」により、児童の主体性や、思考・判断・表現を大切にしよう配慮し、「思考力・判断力・表現力等」の育成や「学びに向かう力、人間性等」の涵養、我が国や郷土の音楽の指導を、それぞれ深める工夫をしている。学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。様々なコンテンツがあり、教材との関連性を学べるようにしている。透明シートが使用され、知識を修得するための一助となっている。音楽を味わって聴くために、曲想やその変化、よさを見いだせるよう、聴き方の手立てが示してあり、味わって聴く手がかりとなっている。1人や2人、少人数グループで楽しみながら、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を養うために、体を動かす活動が多く掲載されている。

教育芸術社「小学生の音楽」では、音楽の様々な諸要素を含んでいる楽曲を多く取り扱っている。学年間の系統性・関連性がある構成になっており、児童が学習に取り組むやすいよう工夫している。身の回りの音に注目する学習を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を無理なく育むことを意識している。鑑賞教材やリズム遊びで身体反応を伴った拍感、リズム感の習得ができるような題材構成や教材の配置になっている。階名を補助的に音符に記入するなど、音程感の習得に効果的である。2次元コードから指導に役立つ画像などのコンテンツを閲覧できるようになっている。「1人で」「みんなで」を繰り返す活動が入っており、友達とコミュニケーションを図ったり、協働して楽しんで活動したりする例が多く示されている。児童の学習状況に応じ、課題に対して児童自ら調べ、話し合っただけ学習を深める場面も明示されている。

## 委員

「主体的・対話的な学習」の扱いについて伺いたい。

## 選定委員

1人で、また少人数で取り組む音楽活動が用意されている。また、音楽をモチーフにしたキャラクターを登場させ、知識の習得や理解の深まり、学びの広がりをサポートしていると考えます。

## 委員

対話的な学習とは具体的にどのようなものか伺いたい。

## 選定委員

例えば、リズム遊びなどで、児童がそれぞれリズムを考え、それを発表しあう。感想を述べたり、みんなで真似したりして、学びを深めていく。

委員

音楽が苦手な児童もいると思うが、児童が興味を失わないような工夫があれば伺いたい。

選定委員

以前は教科書に直接書き込むことはなかったが、2者とも教科書に音符や記号を書き込むなどして活用する部分があり、児童の興味・関心を深めていると考える。

委員

音楽には文化的、歴史的な要素もあるが2者はどのように扱っているのか伺いたい。

選定委員

日本の伝統的な楽器として、教育出版は琴、しの笛、教育芸術社は琴、和太鼓を取り上げている。また、2者とも、世界的に有名な楽曲を鑑賞する単元ももちろん用意されている。

委員

2者はそれぞれ紙面のレイアウトにどのような工夫を施しているのか伺いたい。

選定委員

教育出版では、教材に合わせた写真を使用し、視覚的に情景が想像しやすく工夫されている。また、学習する際の手立てとして透明シートが使用され見やすくなっている。教育芸術社では、紙面編集全体的に、特別支援教育の視点に立った配慮や、色覚特性をもった児童への配慮がなされている。

教育長

伝統的な音楽について、2者はどのように扱っているのか伺いたい。

選定委員

日本の伝統的な楽器として、教育出版は琴、しの笛、教育芸術社は琴、和太鼓を取り上げている。出版社によって異なるが、それぞれ日本の伝統的な音楽について掲載している。

教育長

「君が代」の扱いについて違いはあるか確認したい。

選定委員

「君が代」については、いずれの学年においても歌えるように指導する必要があるため、いずれの教科書も同じように掲載している。国歌を大切に思う視点も同様である。

教育長

教員の視点から、指導しやすい工夫があれば伺いたい。

選定委員

2者とも児童が主体的に学べるよう、音楽をモチーフにしたキャラクターや友達との会話などの素材を活用し、より親しみやすい構成を意識している。

教育長

その点における2者の違いについて伺いたい。

選定委員

教育芸術社はキャラクターが多く登場する。

教育長

このキャラクターはどのように活用されているのか伺いたい。

選定委員

知識の習得に役立つ場面も見受けられるため、そうしたところで活用されていると考える。

教育長

思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力を身に付けるために、どのような工夫が見られるか伺いたい。

選定委員

教育出版は音楽を味わって聴くためによさを見出せるような聴き手のポイントを示している。教育芸術社では歌詞や曲の特徴について話し合う視点を示して、よさを味わって聴く取組や構成上の工夫が見られる。

教育長

紙面のレイアウトにはどのような工夫が見られるか伺いたい。

選定委員

教育出版の第3学年と第5学年の教科書に付されている透明シートは他にはないものである。教育芸術社は「調べよう」というコーナーがあり、調べ学習や友達とのコミュニケーションを図ることに役立つ工夫が見られる。

委員

楽器指導についての工夫があれば伺いたい。

選定委員

2者とも、単に演奏しようというだけでなく、教科書に音符などを書き込み、まず知識を習得させる工夫が見られる。

(教育長及び教育委員による投票)

教育長

開票の結果、教育芸術社「小学生の音楽」4票、他者0票となり、音楽は、教育芸術社「小学生の音楽」を採択することとする。

教育長

図画工作について審議及び採択を行う。

#### 選定委員

図画工作の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載されたすべての教科書2者、開隆堂出版、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、開隆堂出版と日本文教出版の2者とした。

開隆堂出版「図画工作」では、学習の要点を明確に捉え、見やすくレイアウトしている。造形活動の楽しさや喜び、友だちとの豊かな関わりの中での学習の必要性を明示している。材料や用具の扱い方や表現の工夫を、巻末や題材ごとに図や写真を用いて示している。造形的なものの見方や考え方や育てたい資質能力に重点をおき、題材を工夫している。作品の解説は、活動の意図や感じたこと、工夫したことを簡潔に記している。児童の思いやイメージに沿った幅広い参考作品を掲載している。児童の主体的な活動や友だちとの交流活動の様子を、大きく写真で伝えている。新しい素材を用いたり、様々な表現方法を取り入れたりできる題材を工夫している。「みんなのギャラリー」として、伝統工芸品を用いたものづくりのよさを掲載したり、動物園内の表示板によって生活の中の造形を掲載したりすることで、幅広い鑑賞の視点をもつことができるようになっている。QRコードのついているページがあり、紙面にはない作品例をパソコンなどで見るできるようになっている。

日本文教出版「図画工作」では、全体的に、製作の手順や各表現技法のこつを、写真や図によってわかりやすく示しており、楽しく豊かな生活を創造する心を育てる工夫がされている。巻末には、「使ってみよう材料と用具」として、材料と用具の扱い方について写真やイラストを用いた説明があり、表現の工夫や技法の紹介がまとめられている。各題材において、囲みを設けて特記し、配慮すべき内容を文章表記している。「教科書美術館」として、多様な作家の作品を掲載し、鑑賞の視点を深めることができるようになっている。「図画工作のつながり・広がり」のページから生活の中の造形を意識することができるようになっている。題材ごとに、児童の写真の吹き出し枠の背景色が統一されているので、作者の表現意図や工夫したことに着目しやすくなっている。題材の終わりには、学習の振り返りを行っている。また、次の学習へ生かせる事項について、児童がつぶやくセリフとして表示している。表示キャラクターが発想のヒントを伝え、児童に活動や学習を促す工夫をしている。

#### 委員

目標や内容の変更はあるか確認したい。

#### 選定委員

目標や内容の変更、改善があった。「感性を働かせながら」が「造形的な見方・考え方を働かせ」になり、3つの柱に整理された点が大きな変更点である。

## 委員

図画工作では様々な道具を用いるが、それらの取扱い方の説明について2者で大きな違いはあるのか伺いたい。

## 選定委員

道具の取り扱いについては、2者ともその道具を使用する単元においてそれぞれ掲載している。そのほかに巻末に、開隆堂出版は「造形の引き出し」、日本文教出版は「使ってみよう材料と用具」等の特設ページをそれぞれ設け、材料や用具の使い方について写真やイラストでまとめている。

## 委員

育てたい3つの資質・能力については、具体的にどのようなもので、2者ではどのように扱われているのか伺いたい。

## 選定委員

図画工作に限らず、今回の改訂で3つの資質・能力はすべての教科において育てていきたい力であり、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」ということである。図画工作の2者においては、開隆堂出版は、各題材の中で学習のめあてとして示し、特に重視したい視点を朱書きで表記し、意識できるようにしている。日本文教出版は、各題材の中で板書する形で学習のねらいとして示し、意識できるようにしている。

## 委員

図画工作は個性を尊重し、創造力を育成する教科の1つであると考え。2者において創造力を育成する工夫はどのようなものがあるのか伺いたい。

## 選定委員

2者とも、造形的なものの見方・考え方を育てるという視点でそれぞれ工夫している。開隆堂出版では「造形の引き出し」において写真やイラストとともに、安全な用具の使い方、各題材における配慮事項を示している。日本文教出版も巻末に材料と用具について写真やイラストを用いて説明し、各題材において囲みを設け、配慮事項を明記している。こうした工夫により児童の創造力に働きかけ、充実した活動を行うことができると考える。

## 委員

感性を育むことは重要であると考え。児童はお互いの絵を見て感性を磨くという部分があるが、2者に掲載されている児童の作品はどのようなになっているか、差はあるのか伺いたい。

## 選定委員

教科書に掲載されている作品数については、開隆堂出版は第1学年から第6学年まで合わせて521作品、日本文教出版では515作品となっている。同年代の子どもの作品を参考にすることは児童の感性を磨くうえで重要なことであるが、教科

書に掲載されている作品の数としては2者に差はないものとする。

教育長

水彩画の指導や、筆、パレットの使い方についてはどのように取り上げているか伺いたい。

選定委員

水彩画の指導は第3学年で行うが、開隆堂出版は、3・4年上の教科書に「にじんで広がる色の世界」という題材名で取り上げている。様々な技法を写真で示し、色鮮やかな作品が、児童に興味をもたせる内容となっている。ページ内に用具の使い方も示されているが、巻末の「造形の引き出し」において、筆やパレットの使い方や片づけ方を具体的に示している。日本文教出版も3・4年上の教科書において、「わたしの6月の絵」「ことばから形・色」という題材名で取り上げ、子どもの楽しそうな様子や様々な表現方法を掲載している。巻末の「つかってみよう材料と用具」にて、写真とイラストでさらに詳しく説明している。

教育長

図画工作においては、子どもの発想を豊かにする、1つの素材から様々なものに転換させていく力を育むことが求められると考えるが、そうした点において工夫は見られるのか伺いたい。

選定委員

発想を豊かにするという事は、図画工作の目的である、造形的な見方・考え方を養うということであるとする。どちらの教科書も工夫されているが、児童が教科書を通じていかに多くの作品に触れることができるかということ考えたときに、開隆堂出版はQRコードを掲載し、さらに多くの作品に触れることができ、児童の創造力を養う工夫がなされている。

(教育長及び教育委員による投票)

教育長

開票の結果、開隆堂出版「図画工作」4票、日本文教出版「図画工作」0票となり、図画工作は、開隆堂出版「図画工作」を採択することとする。

教育長

家庭について審議及び採択を行う。

選定委員

家庭の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書2者、東京書籍、開隆堂出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と開隆堂出版の2者とした。

東京書籍「新しい家庭」では、すべての学習項目で問題解決的な学習ができるよ

うに「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3段階で構成されている。それぞれの段階が具体的に提示されており、見通しがもちやすい。また、「めあて」に向かってスモールステップで学習を進め、ステップ毎に「ふり返ろう」が設定されている。巻末「いつも確かめよう」では、基礎的な技能が詳しく説明されており、児童が自ら確かめることができるようになっている。題材の中に学びを深めるために必要な「考えよう」「話し合おう」「調べよう」などの活動が設けられ、自分の考えを記入できるようになっている。また、題材末の「深めよう」や「生活を変えるチャンス！」では、実践のすすめ方や具体例を写真で示すなど、学んだことを生かす意欲を高める工夫もされている。巻頭には、「成長の記録」のページがあり、学習の積み重ねを自己評価として残すことができるようになっている。作ってみたいという意欲が高まるような実践的、体験的な活動を通して、基礎・基本を身に付け、生活の自立に繋がるように工夫されている。

開隆堂出版「小学校 わたしたちの家庭科」では、導入では、「フォトランゲージ」を使って、生活の様々な場面を想起して学習に入り、題材の始めに問いかけの文で課題意識を高める工夫がされている。各題材を問題解決学習の3段階「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」で構成している。それにより、学習過程を見通し、見方・考え方を働かせながら、生活を自分のこととして捉えられるように組み立てられている。「話しあおう」「考えよう」などの場面が題材の中に設定され、児童が疑問について友達と意見交換をしながら解決方法を考えていくことで深い学びに繋がるように工夫されている。学習過程がスモールステップで積み重ね、着実に知識・技能を身に付けていくように構成されている。実習については、技能面を自己評価できる「できたかな」チェック欄があり、細かく確認しながら安全に進めることができるようになっている。各題材に「ひとロメモ」「参考」の欄を設けたり、単元末「やってみよう」学期末「チャレンジコーナー」学年末「レッツトライ」の活動例を示したり、児童が主体的に取り組み、生活に生かすことができる工夫がなされている。

## 委員

家庭生活への関心を高めたり、衣食住をつなぐ大切さなどについて、2者はどのように扱っているか伺いたい。

## 選定委員

家庭生活への関心を高めるために、学習内容を家庭生活上で活用する形で、衣食住などの内容を取り扱っている。東京書籍では「生活を変えるチャンス」という題材にて、該当単元で学んだことを生かして生活をよりよくする機会を設けるよう構成されている。また例示もレポートや新聞など多様な表現で示しており、活動の参考となるよう工夫されている。開隆堂では、「チャレンジコーナー」という題材を各



学期末に配置し、今まで学習してきたことを横断的に活用する機会を設けることで、家庭での実践や関連事項への興味関心を広げる工夫をしている。

#### 委員

「消費生活・環境」について、その意義と教科書での扱われ方はどのようになっているか伺いたい。

#### 選定委員

2者とも「消費生活・環境」については、持続可能な社会の構築など社会の変化に対応して、主体的に生きる消費者としての態度を育成する視点から、児童にとって身近な、ものの選び方や買い方、環境に配慮した生活の工夫などを実践的に学ぶことをねらいとして作られている。東京書籍では、各題材での扱いのほかに、随所に「環境マーク」を配置し、具体的な配慮内容を示している。また「持続可能な社会の構築」を第5学年の消費者教育と合わせて1つの大きな題材として扱っている。開隆堂出版では、各題材での扱いとともに、やはり「環境マーク」を用いて、実践的な学習事項の案内をしている。また第6学年の最後に大きな題材「持続可能な社会を生きる」として、消費・環境を視点にして、A家族・家庭生活、B衣食住の生活として食生活・衣生活・住生活、C消費生活・環境 ABC全内容を横断的に考える機会を設けている。

#### 教育長

食育、健康教育という面で調理実習があるが、実習内容について2者ではどのように扱われているか、特徴的なところを伺いたい。

#### 選定委員

東京書籍では、調理の目的や身支度など、実習前の事前指導や、計画・調理・試食・片づけなど、学習過程の見通し、活動の視点などについて、2年間一貫した調理実習のルールづくりを学ぶ機会を設けている。開隆堂出版では、調理における学習過程を、計画・調理・試食・片づけ・振り返りとして示し、調理器具から手洗いの仕方や安全配慮などを具体的にきめ細かなポイント絞って掲載することで、調理実習の基礎・基本を学ぶ場面を設けている。

#### 教育長

東京書籍は事前指導を重視し、開隆堂出版は調理過程に重きを置いている。安全面での配慮はどのようになっているか確認したい。

#### 選定委員

2者とも安全配慮については、事前指導として巻頭で触れたり、それぞれの場面で必要な安全配慮を細かく記載したりする工夫があるため、児童が気を付けながら作業を進めることができる。

#### 教育長

対話的な学習を行ううえで、2者に特徴的なところはあるか伺いたい。

## 選定委員

2者とも吹き出しやコラム等を用いて、児童が会話をしながら学習を進められるよう工夫されている。東京書籍では、「やってみよう」「話し合おう」「調べよう」「深めよう」のコーナーを設定し、対話的に学習できるよう工夫されている。話合いのまとめ場面では思考ツール（とりまとめ表）を活用するなどして、児童が見通しをもって活動できる工夫もしている。開隆堂出版においても、「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」「まとめよう」のコーナーを設定し、言語活動を促す場面を多く設け、繰り返すことで効果を高める構成になっている。

## 教育長

生活と関連させる、生活に生かすという視点で特徴はあるか伺いたい。

## 選定委員

開隆堂出版では単元末の「やってみよう」、学期末の「チャレンジコーナー」、学年末の「レッツトライ」に活動例を示している。東京書籍では題材末の「深めよう」や「生活を変えるチャンス」で実際の自分の生活にも広げる工夫が施されている。

## 教育長

指導しやすいのはどちらと考えるか伺いたい。

## 選定委員

どちらも使いやすく、それぞれ良い点がある。特徴的なところでは、東京書籍は情報量が豊富であるため、調べ学習的に扱いたい単元においては児童も使いやすいのではないかと考える。開隆堂出版は端的に情報が集約されている印象がある。

(教育長及び教育委員による投票)

## 教育長

開票の結果、開隆堂出版「小学校 わたしたちの家庭科」4票、東京書籍「新しい家庭」0票となり、家庭は、開隆堂出版「小学校 わたしたちの家庭科」を採択することとする。

## 教育長

保健について審議及び採択を行う。

## 選定委員

保健の教科用図書調査研究専門員会において、教科書目録に掲載されたすべての教科書5者、東京書籍、大日本図書、文教社、光文書院、学研教育みらいについて、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と学研教育みらいの2者とした。

東京書籍「新しい保健」では、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう、問題解決的な学習を取り入れ、「まとめる・生かす」が別ページの構成になっている。

各項の内容を「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の学習パターンによってまとめ、基礎的・基本的な内容が習得できる構成となっている。自分の考えを書いたり話したり、資料を基に思考したりする活動を通して、思考力・判断力・表現力等の育成が図られている。次時の学習へつなげ、学びへの意欲を喚起するように工夫されている。資料が豊富で、健康・安全についての理解を深める工夫がなされている。オリンピック・パラリンピックアスリートの資料や、中学校への接続を考えた発展内容などを掲載しており、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成することができるよう工夫されている。

学研教育みらい「みんなの保健」では、学習の進め方が明記され見通しをもって学びに向かうことができるよう、「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」という学習内容が見開き2ページ構成となっている。「まとめる・深める」では、学習したことを基に、自分の考えを記述し、キャラクターの言葉により他の人と伝え合うように工夫されている。鮮明でわかりやすい資料を配置し、今日的な健康課題を積極的に取り上げることで、児童が身近に感じられるよう配慮されている。

「かがくの目」では、科学的な根拠を提示し、内容を詳しく説明するつくりになっている。用語を解説する「ことば」欄を設けている。中学校での学習内容が示されており、運動と健康を系統的に学ぶことができ、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成することができるよう工夫されている。

委員

各発行者の特徴について伺いたい。

選定委員

東京書籍は文章と資料のバランスがよい。大日本図書は内容を精選してコンパクトにまとめている。文教社は写真・イラストが大きく、児童にとって見やすい。学研教育みらいは、児童が興味・関心をもつ写真やグラフ等の資料が充実している。光文書院はレイアウトに統一感があり、児童が学習しやすくまとめられている。

委員

がん教育に関する記載と、生活習慣に係る疾病について、2者はどのように扱っているか伺いたい。

選定委員

がん教育については全者に記載がある。生活習慣病についても同様に記載があり、どちらも単元のなかで写真やイラスト、医療的な資料等を用いて、どのようなことが原因で起こるのかを学習しやすくまとめている。

委員

薬物乱用及び喫煙については記載されているのか確認したい。

選定委員

薬物乱用、飲酒、喫煙について、全者に記載がある。

委員

保健の学習には科学的な根拠や、豊富な資料が必要であると考え。推薦された2者について、どのような工夫がなされているか伺いたい。

選定委員

電子顕微鏡による写真を用いて児童にインパクトを与えたり、重要性を考えさせたりする工夫がなされており、2者に共通して見られるものである。

教育長

がん教育についてであるが、学研教育みらいでは「がん」とはどのような病気か、また予防についてなど、大きく取り上げている。他者はどのように記載しているか伺いたい。

選定委員

掲載されている量とすると、学研教育みらいが最も扱い方が大きく1ページ使用している。そのほかすべての発行者で「がん」という言葉については扱っているが、「がん」に絞ったコラム等があるのは東京書籍と光文書院で3分の2ページ程度、他者は3分の1ページほどを用いて記載している。

教育長

身近な生活における健康、安全について理解を深めることは重要であるが、この点についての工夫はあるか伺いたい。

選定委員

学習指導要領の改訂により予防・防止という視点が大きく取り上げられている。題材については発行者によって異なるが、熱中症、自然災害、AEDなどとなっている。

教育長

生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成する工夫があれば伺いたい。

選定委員

学習指導要領の改訂の趣旨として、対処する力、つまり、ただ理解しているだけでなくそれに対応する力の育成が新たに加わった。例えば、心の健康の单元において、児童が自ら取り組むことができる気分転換の方法などが掲載されている。

教育長

オリンピック、パラリンピックについて取り上げている教科書はあるか伺いたい。特に、推薦された2者についてはどのようになっているか伺いたい。

選定委員

全者で取り上げている。推薦された2者については、アスリートの写真等を掲載し、競技への興味・関心と健康について考える機会となるよう工夫されている。

教育長

2者の良い点について伺いたい。

#### 選定委員

東京書籍は問題解決的な学習に力を入れた構成になっている。学研教育みらいは、学習の進め方を明記し、見通しをもって学びに向かうことができるような構成となっている。

(教育長及び教育委員による投票)

#### 教育長

開票の結果、学研教育みらい「みんなの保健」4票、他は0票となり、保健は、学研教育みらい「みんなの保健」を採択することとする。

#### 教育長

外国語について審議及び採択を行う。

#### 選定委員

外国語の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載されたすべての教科書7者、東京書籍、開隆堂出版、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書出版、新興出版社啓林館について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と教育出版の2者とした。

東京書籍「NEW HORIZON Elementary English Course」では、各単元の導入では、小学校を舞台にした身近な題材が取り上げられ、学習への関心・意欲を高める工夫がされている。各単元の展開ページでは、学習指導要領の趣旨を具現化した小学校外国語教材「We Can!」、外国語活動教材「Let's Try!」に近い活動を多く盛り込んで、「コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力」の育成を目指すことができるようにしている。各単元は、3つの段階で構成されている。Starting Out (導入)では、音と映像で重要表現を知り、Your Turn (展開)では、ペア・グループ活動を通して重要表現に慣れるよう工夫されている。Enjoy Communication (まとめ)では、単元で学習した表現力を使い、思いを形にして楽しみながら思考力・判断力・表現力を高める構成となっている。さらに、各単元にOur Goalとして目標が明記され、単元の最後には異文化理解のページがある。別冊「Picture Dictionary」が第5学年に供給され、小学校で学びたい言葉や表現がジャンル別に1冊にまとめられている。

教育出版「ONE WORLD Smiles」では、各単元が「聞くこと→やり取り→読むこと→書くこと→話すこと」で構成され、どんなことをするのか、どんなことができるようになるのかが明確に示されている。また、コミュニケーションをとるために必然性のある場面を設定し、相手に配慮した活動ができるよう工夫

がされている。各単元は、冒頭の見開き Let's Watch（映像を見て概要を捉える活動）から始まり、まとめの Final Activity（学習した語句や表現を使い、自分のことについて表現する活動）へとつながるように工夫されている。また、Let's Say It Together/Let's Sing（語句、表現の口慣らしの活動）、Let's Think（コミュニケーションや言葉、文化について考える活動）、Let's Listen（聞いて理解する活動）、Activity（聞いたり話したりする活動）、Let's Read and Write（読んだり書いたりする活動）などの多様な活動で構成されている。各単元末には、Sounds and Letters（アルファベットの形、音声と文字の関係の学習）、Review（復習の活動）、ふりかえろう（自己評価表で自分の達成度の確認）があり、学習を振り返ることができるようにしている。

#### 委員

小学校において初めて外国語が教科となるが、教員の負担軽減の観点からは、教材の構成についてどのようになっているのか伺いたい。

#### 選定委員

本市においては今年度まで、第3、第4学年で15時間、第5、第6学年で50時間の外国語活動を行ってきた。文部科学省の「Let's Try」や「We Can!」を用いて活動を行ってきたが、東京書籍はその慣れ親しんできた活動の名称を使用している。慣れ親しんだ表現を引き続き使用することは、児童にとっても親しみやすく、また教員にとっても指導がしやすいことが考えられる。2者ともにそうした点が見られるため、教員の負担軽減にも繋がる場所はあると考える。

#### 委員

児童の自己評価についてはどのようになっているのか伺いたい。

#### 選定委員

2者とも、単元末、あるいは巻末等で日々の学習の成果が確認できるようになっている。児童自身が自己の学習到達度を把握することもできる構成は、学習に効果的に活用できるだけでなく、児童の学習の評価としても活用できる。

#### 委員

小学校で使用する教科書と中学校で使用する教科書の発行者が異なる場合、接続という意味で支障はないのか確認したい。

#### 選定委員

学習指導要領に基づいて作成しているため、教科書会社が変わったからといって混乱するようなことはないと考えている。特徴的なところでは、東京書籍は別冊で、Picture Dictionaryがあり、中学校の学習にも配慮された語彙が収載されており、中学校でも活用できる工夫がなされている。

## 委員

外国語においてはコミュニケーション能力の向上が重要であるが、その観点からの評価は難しいものであると考える。教員の負担になるのではないかと、その点についての考えを伺いたい。

## 選定委員

評価項目など詳細はまだ決まっていない。今後、検討が進んでいくなかで、スムーズに評価できるような項目等になればと考えている。

## 委員

初めて外国語に親しむ大切な時期に、外国語が苦手になってしまわないような工夫がなされているか、2者について伺いたい。

## 選定委員

東京書籍は、絵で示したいくつかの場面を、音声を聴いて、絵の順番を選んでいくなど、楽しみながら慣れ親しんでいくことのできる構成となっている。教育出版は、見開きで絵が多く掲載されていることに加え、映像を見て学習ができるようになっている。

## 委員

児童は発達段階等によって集中できる時間が異なるため、特に新しい教科では教員が工夫して授業を展開する必要があると考える。その点で2者はどのような配慮をしているか伺いたい。

## 選定委員

第5、第6学年は外国語を書くことも学習内容に加わってくる。東京書籍は教科書に掲載している、アルファベットを書く際の4線が等間隔ではなく第2線と第3線の間が広がっている。教育出版も同様となっており、2者とも書きやすく見やすくする工夫により、児童の発達段階に配慮していると考えられる。また、写真やイラストが豊富で、それに伴う音声教材や動画も用意されているため、児童が楽しみながら学習できるような配慮がなされている。なお、東京書籍については見開きのページで授業1時間という構成になっていることに加え、ページ下部の帯が15分区切りになっており、ポイントを絞ってあるいは進み具合により区切ってなどの指導にも活用できるよう工夫されている。

## 教育長

まなびリンクやQRコードはどのように活用するのか伺いたい。

## 選定委員

授業においては、タブレット端末でコードを読み取り、児童が使用したり、教員がプロジェクターを用いてスクリーンに投影したりして活用する。

## 教育長

2者の大きな違いを確認したい。

## 選定委員

教科書のサイズが異なる。東京書籍はA4版と大きく、教育出版はA5版である。東京書籍はその大きさを生かし、4線の第2線と第3線の間を広くしたり、アルファベットの書き順のページも1文字ずつ大きく見やすく表示したりしている。4線などは発達段階に応じ、等間隔のものに向けて調整していく必要はあるが、入門期には適した教科書であると考えられる。

## 教育長

英語嫌いにさせない工夫について再度確認したい。

## 選定委員

文部科学省の小学校外国語活動実施状況調査によると、中学生の7割から8割が、小学校の時の外国語活動が中学校で役に立ったと回答したとのことである。小学校における今までの外国語活動は、中学生になっても有効であることがわかる。小学校ではペアやグループでゲームをするなど、活動を中心に外国語に親しんできた。授業になっても、単語を書いて覚えるだけでなく、活動を取り入れて楽しく取り組めるような工夫が必要である。この点については、どの教科書も、まずは視覚的に興味・関心がわくような構成になっており、楽しく活動できる工夫がなされている

## 委員

学校訪問の際に日本のローマ字方式の表記とヘボン式の表記が混在する場面を目にしたが、本市として一貫性のある指導を行っているのか伺いたい。

## 選定委員

外国語指導においてはヘボン式を用いている。教科書のローマ字表にもヘボン式と明記されている。一貫性のある指導ということについては、小学校の場合、外国語指導は主に担任が行うが、AETの指導力に頼るところが大きいのが実状である。

(教育長及び教育委員による投票)

## 教育長

開票の結果、東京書籍「NEW HORIZON Elementary English Course」3票、教育出版「ONE WORLD Smiles」1票、他は0票となり、外国語は、東京書籍「NEW HORIZON Elementary English Course」を採択することとする。

## 教育長

道徳について審議及び採択を行う。

## 選定委員

道徳の教科用図書調査研究専門員会において、教科書目録に掲載されたすべての教科書8者、東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書出版、日本文教出版、光文書院、学研教育みらい、廣済堂あかつきについて、調査研究を行った。それらの調



査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と学研教育みらいの2者とした。

東京書籍「新訂 新しい道徳」は、「読み物教材」と異なる「活動型教材」や、現代的課題を適宜掲載し、評価のページが充実している。特に、巻末の「学習の振り返り」では、児童が自ら評価する欄が設けられていて、1年間かけて楽しみながら意欲的に取り組み、児童が自らの成長を実感できる工夫をしている。現代的課題では、重点項目として「いじめのない世界へ」をユニット形式で全学年に設け、「命の尊さ」「個性の伸長」「親切、思いやり」「友情、信頼」と関連させながら直接的または間接的にいじめについて考えさせる工夫をしている。第3学年以上の「問題を見つけて考える」では、「考えるステップ」を掲載し、「考え、議論する」学習のモデルや問題解決的な学習のモデルを示している。また、各読み物資料末には、場面発問例だけでなく、内容項目について自分を意識して考えさせる発問例や視点を示している。「Dマーク」表示のある教材は、インターネットを活用した学習が可能となっている。さらに、挿絵・写真等の補助資料も多彩に掲載されており、発達段階に応じた題材を適切に取り上げている。

学研教育みらい「新・みんなの道徳」は、児童自身で課題を見つけ、特定の価値観を押しつけることのないように、すべての教材の冒頭に主題名は記載しない工夫が施されている。「いのちの教育」を最重点テーマとして、全学年にわたり、内容項目「生命の尊さ」の教材を3点設定している。特に、低学年では「しっかり生きる」中学年では「仲よく生きる」高学年では「ともに生きる」を考えさせる教材を複数取り上げ、いじめ未然防止につながる道徳性を育成するよう構成している。さらに、いじめなどの心の問題については、直接的・間接的なアプローチが可能な教材を用いて幅広い視点から学習できるようにしている。読み物資料末の「考えよう」では、従来の発問にとどまらず、考え議論する道徳をふまえた発問や他の学習へ発展を促すような発問例が示されている。A4判のため視覚的にゆったりとした紙面で、文字の大きさだけでなく、発達段階に応じて、児童が興味・関心をもちやすい魅力のある教材を配置し、印象的な挿絵や写真を配列し、児童の学習意欲を高める工夫をしている。QRコードを使い、インターネット上の補助教材を活用することもできる。

## 委員

現代的課題として情報モラルについて、2者はどのように取り扱っているのか伺いたい。

## 選定委員

現代的な課題の1つである「情報モラル」に視点をあてた時、東京書籍では、各学年に「情報モラル」に関する教材を配置しており、第4学年から第6学年までに、携帯電話についての様々な視点を取り扱う工夫が見られる。学研教育みらいでは、

第1学年で情報機器使用時の約束、第4学年で情報機器使用時の注意点、第5、第6学年でスマートフォンでのインターネットトラブルなどを取り上げ、全学年で対応している。

委員

いじめの問題、生命の尊さについて、2者はそれぞれどのように取り扱っているのか伺いたい。

選定委員

本市において、いじめの問題については最重要課題と捉え、この視点から調査・研究を進めてきた。

東京書籍は、「いじめのない世界へ」をユニット教材として、全学年で掲載している。複数の教材を連続して学習し、幅広い観点から深く学ぶことができる。こうした学習により、いじめをしない、許さない心を育てることにつながるというのが東京書籍の考えであると推察する。学研教育みらいは、「いのちの教育」を全学年の重点におき、いじめ防止につながる多様な教材により、いじめを生まない力を引き出す。発達段階に応じ、「しっかり生きる」「仲よく生きる」「ともに生きる」を考えさせ、いじめ未然防止につながる道徳性の育成につながっていると考える。

委員

現代的課題として情報モラルのほか、どのようなものを取り上げているのか伺いたい。

選定委員

2者とも、現代的課題としては、情報モラルをはじめ、キャリア教育、持続可能な開発のための教育など、様々な分野や課題に対応でき、道徳性を高めることができる内容となっている。

委員

抽象的な表現では児童に伝わりにくい。具体的に、このような行動はいじめである、これはやってはいけないことだ、と示すことも必要であると考え。2者はどのように表現しているのか伺いたい。

選定委員

いじめについては2者とも、間接的・直接的に扱った教材を掲載している。いじめについて直接的に議論できる教材やいじめに間接的にアプローチできる教材に取り組むことにより、一層道徳性を高める工夫がなされている。

委員

「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成するうえで、2者はどのような工夫をしているのか伺いたい。

選定委員

東京書籍では、学習の手引きとして「とびらページ」、教材の冒頭で問題の焦点

化を図る「考えるポイント」、話し合いの手引きとして活用できる「考えるステップ」がある。また、巻末にある「学習のふり返り」では、書くことを通して道徳的価値の理解を深めることができる。学研教育みらいでは、読み物教材の最終ページに、「考えよう」を設定し、発問や他の学習への発展を促す活動の例を示している。また、「やってみよう」で役割演技など体験的な活動をすることで、道徳性を育成することができるようになっている。

教育長

東京書籍は「いじめはよくない」、学研教育みらいは「命の大切さ」からいじめの未然防止につなげる、そのような印象を受ける。現在使用している教科書は学研教育みらいであるが、使用している教員の反応について伺いたい。

選定委員

研究結果にもあるが、現在使用している学研教育みらいについては、命の教育を重視し、児童が自分の成長を考えることができる教科書である、と学校における評価も高い教科書であると捉えている。

教育長

教科書によって、ノートのあるものとなないものがあるが、この点についてどのように分析しているか伺いたい。

選定委員

教科書によっては分冊になっているもの、児童が使用するノートがついているものがある。ノートについては、効果的に使用できる面もあると考える。ただ、指導する側からすると、ノートがあることにより、そこに記入する内容がパターン化され、指導の工夫が難しい部分があると考え。そのため、分冊化されたものやノートがついているものではなく、1冊のものを推薦することとなった。

教育長

出版社によって掲載されている教材は様々であるが、東京書籍は児童生徒の作文が多く掲載されている。この点について選定委員の考えを伺いたい。

選定委員

同年代の児童生徒の作品を読み、児童が自分のこととして理解しやすいと考える。

教育長

道徳性を高める効果はあるか伺いたい。

選定委員

教科書によって、取り上げる教材は様々である。東京書籍は児童生徒の作文が多く、学研教育みらいは伝記が多いという傾向はあるが、児童生徒の作文には親しみを覚えるであろうし、伝記を読み先人の経験を知ることによって自分の未来についてあらためて考えるなど、両者にそれぞれ良い点があると考え。

(教育長及び教育委員による投票)

## 教育長

開票の結果、学研教育みらい「新・みんなの道德」3票、東京書籍「新訂 新しい道德」1票、他は0票となり、道德は、学研教育みらい「新・みんなの道德」を採択することとする。

## 10 その他

- (1) 議案第18号の関係者として、中学校用教科用図書選定委員会委員である川越第一中学校校長、富士見中学校校長、高階西中学校校長、寺尾中学校校長、霞ヶ関西中学校校長の出席について各委員が承認し出席が認められた。
- (2) 議案第19号の関係者として、小学校用教科用図書選定委員会委員である川越第一小学校校長、武蔵野小学校校長、新宿小学校校長、古谷小学校校長、名細小学校校長の出席について各委員が承認し出席が認められた。
- (3) 会議録署名委員として、梶川教育長職務代理者、長谷川委員が指名された。
- (4) 会議について10名の傍聴があった。